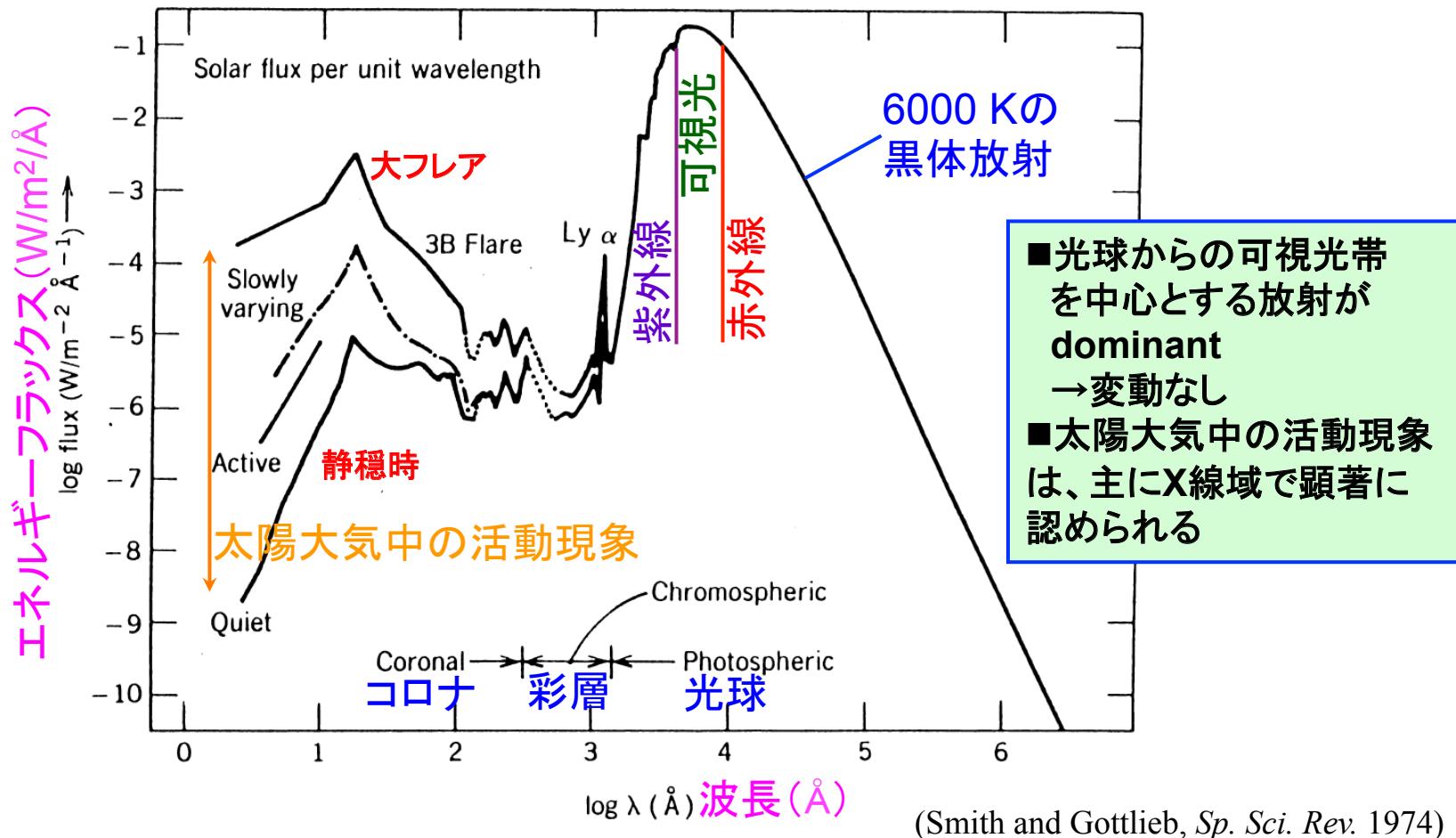
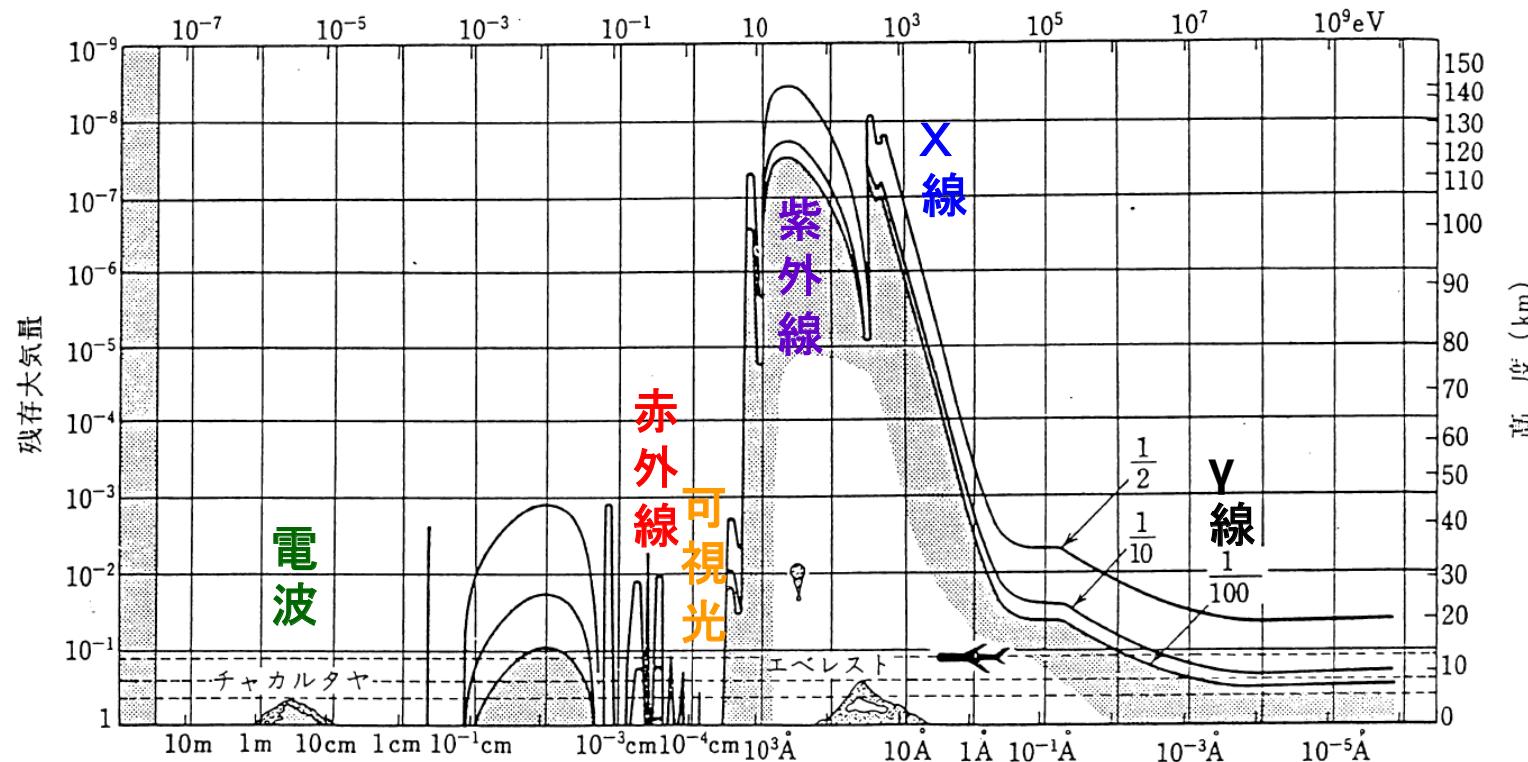


# 太陽からの電磁波放射

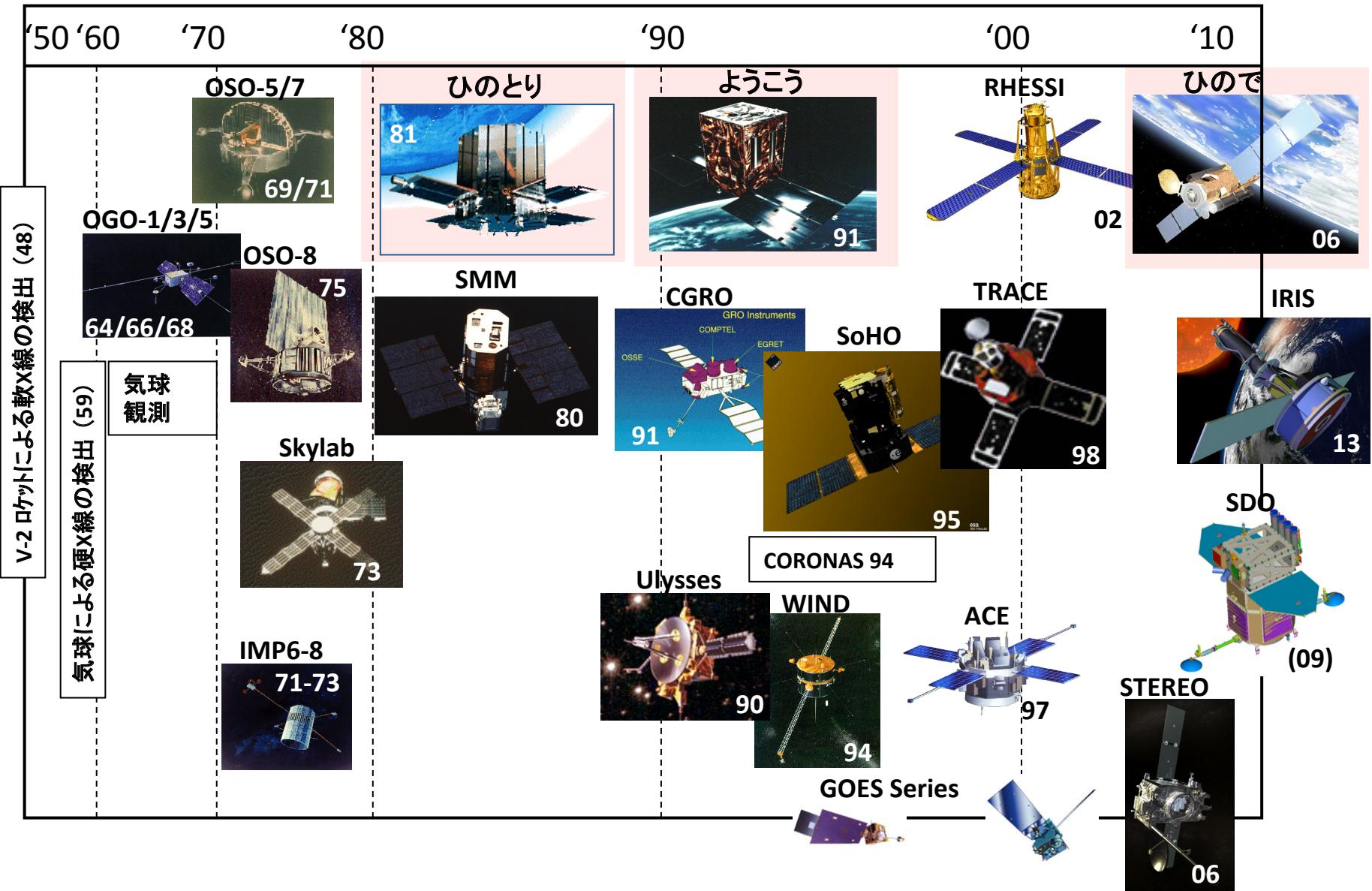


# 地球大気による電磁波の吸収

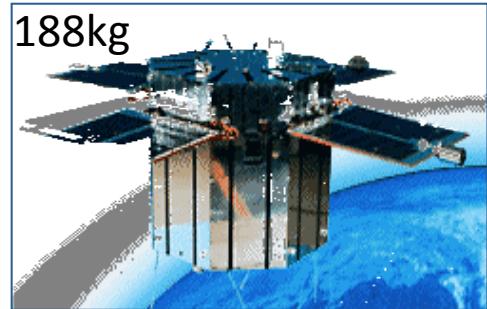


(小田稔「宇宙線」)

# 宇宙からの太陽観測



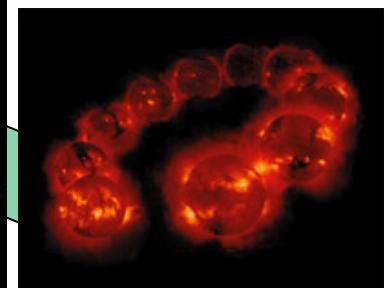
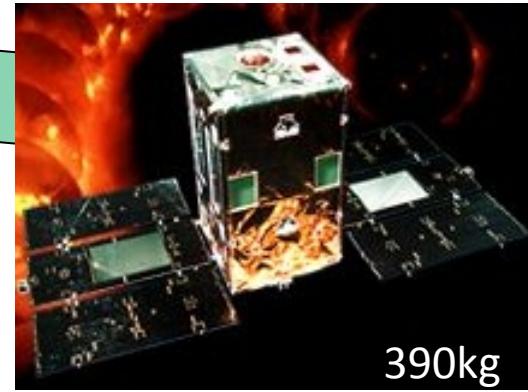
# 日本の宇宙太陽物理学



ひのとり/ASTRO-A (1981–1982)  
太陽フレアのX線・γ線観測



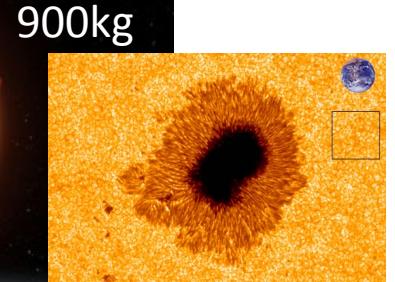
ようこう/SOLAR-A (1991–2001)



## SOLAR-C計画

太陽・太陽圏の磁気活動の  
解明と、  
宇宙天気予測への貢献

ひので/SOLAR-B (2006–)



# 日本のスペース太陽グループの装置開発

- **ひのとり衛星(1981-82); ~190kg**
  - X線望遠鏡(すだれコリメータ)
  - X線精密分光計、X線スペクトル計
- **ようこう衛星(1991-2001); ~390kg**
  - 軟X線望遠鏡のCCDデータ処理部
  - 硬X線望遠鏡
- **XUVドップラー望遠鏡[ISAS観測ロケット](1998)**
  - 直入射多層膜ミラー
  - 裏面照射型CCDカメラ
  - 可動副鏡機構と制御用センサ
- **太陽フレア硬X線スペクトル計[ISAS気球実験](2002)**
  - CdTeスペクトル計

これまでの開発

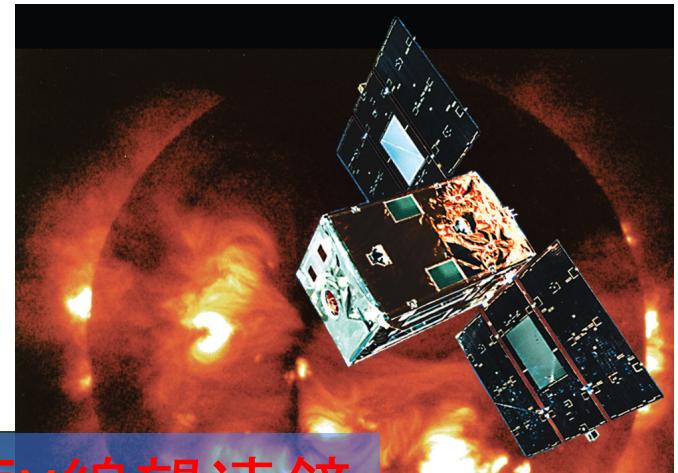


- **ひので衛星(2006-); ~900kg**
  - 可視光磁場望遠鏡の望遠鏡部・光学設計
  - X線望遠鏡のCCDカメラ
  - コンタミネーションコントロール

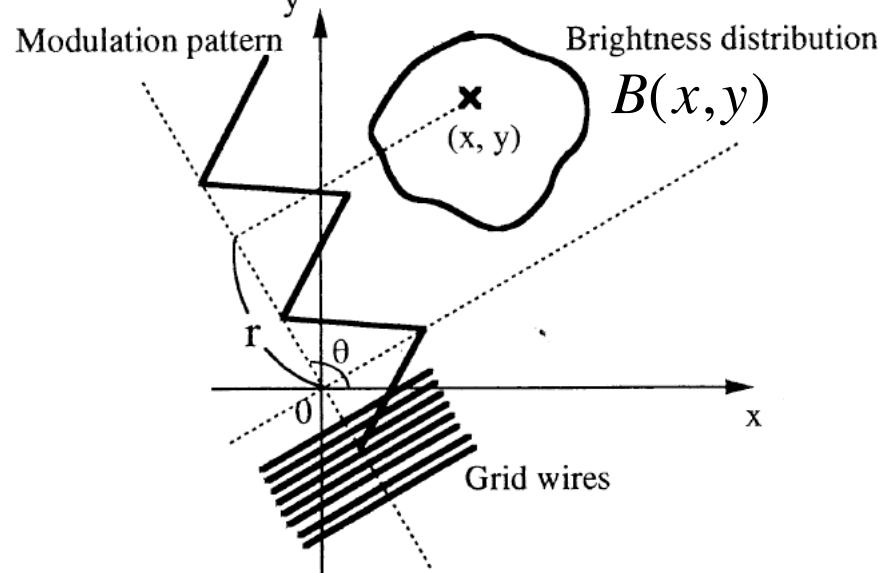
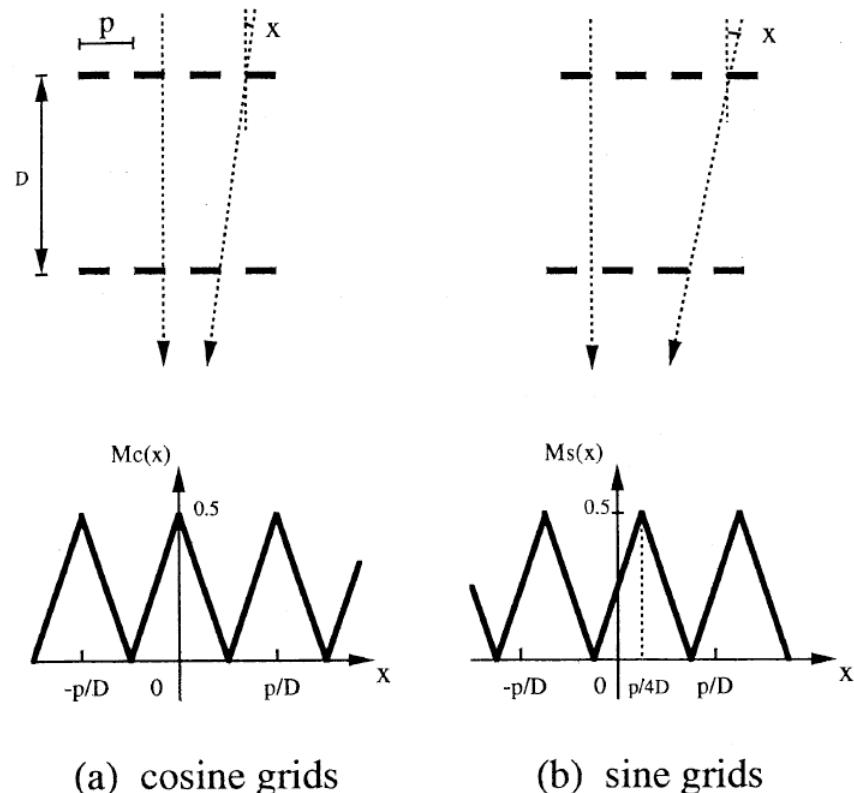
現役で稼働中

- **CLASPロケット実験[NASA観測ロケット](2015打上げ予定) 現在進行中!**
- **SOLAR-C衛星計画(2020年代前半); ~4t**
  - 大型光学望遠鏡(ひのでのヘリテージ)
  - 可動機構、他

# ようこう衛星搭載の X線望遠鏡



# すだれコリメータの原理：1次元



$$b_C(k, \theta) = A \int B(x, y) M_C(kr) dx dy$$

$b_C(k, \theta)$ : 検出器の受けるカウントレート  
 $A$ : すだれコリメータの有効面積

$$M_C(kr) = \frac{2}{\pi^2} \left\{ \frac{\pi^2}{8} + \cos(kr) + \frac{1}{9} \cos(3kr) + \frac{1}{25} \cos(5kr) + \dots \right\}$$

$$M_S(kr) = M_C\left(kr - \frac{\pi}{2}\right)$$

# 斜入射光学系

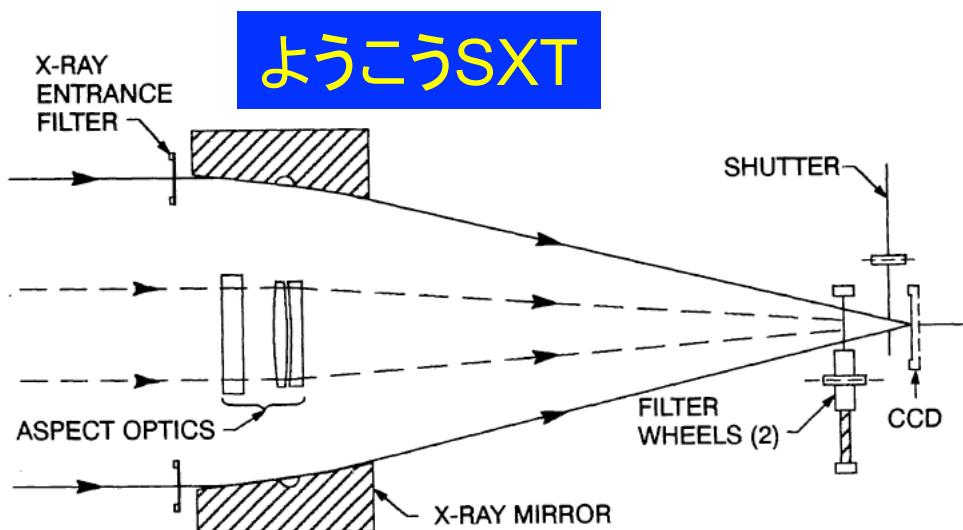


Fig. 1a. Schematic illustration of the optical concept and key elements of the SXT.

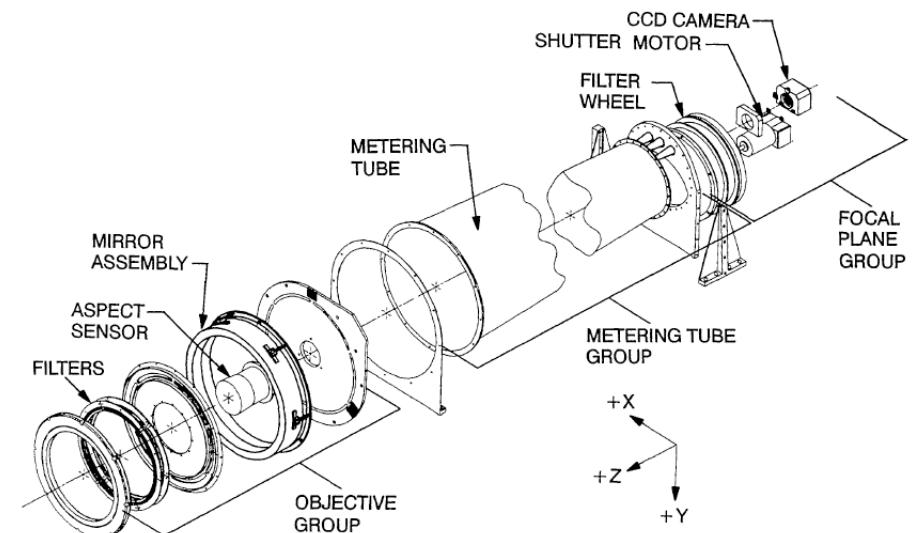
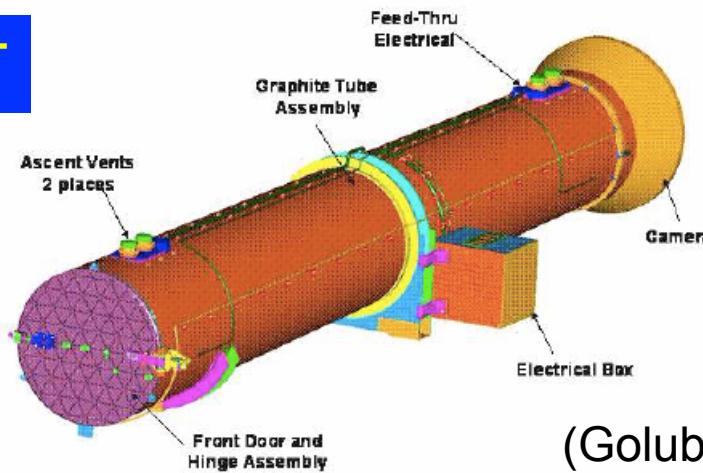


Fig. 1b. Exploded diagram of the SXT. Sub-assemblies mentioned in the text are identified.

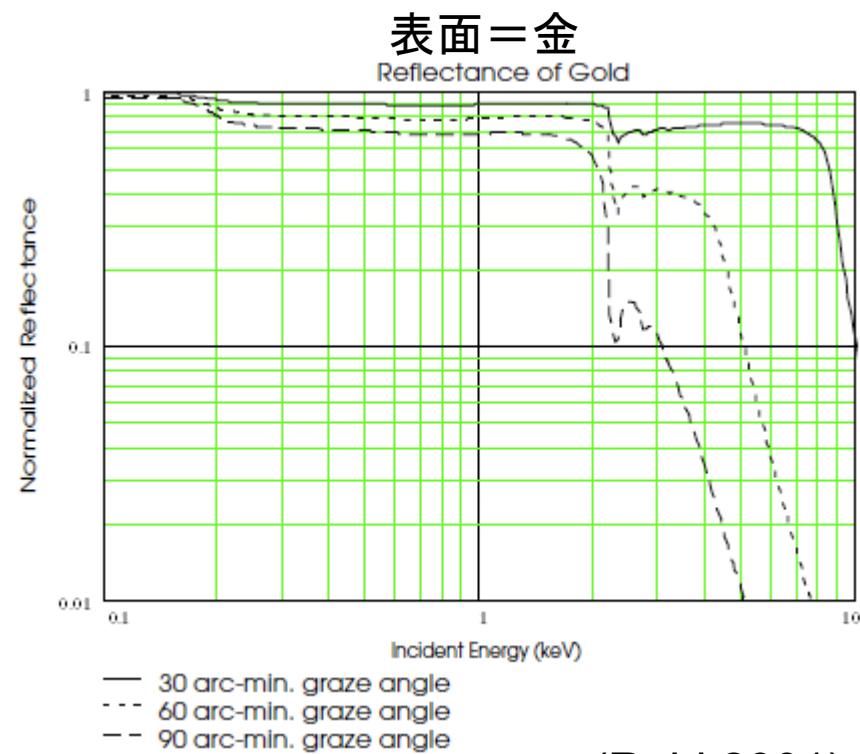
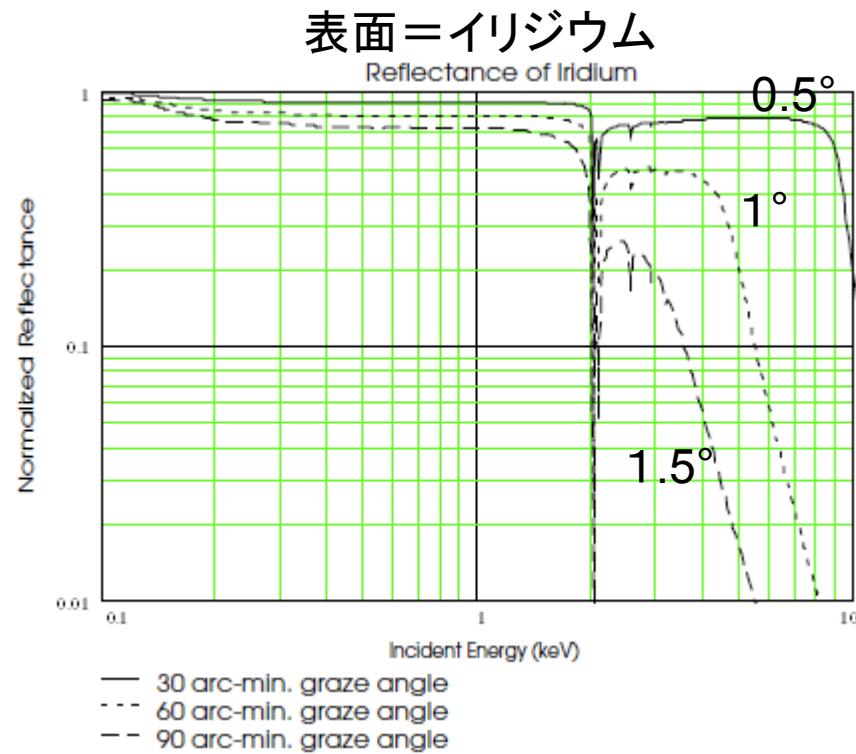
(Tsuneta et al. 1991)

ひのでXRT



(Golub et al. 2007)

# 斜め入射(Grazing Incidence)による X線の反射



(Reid 2001)

$$X\text{線に対する複素屈折率 } n = (1 - \delta) - i\beta$$

$$\cos \theta_C = 1 - \delta \quad \theta_C : \text{全反射の臨界角}$$

$$\theta_C = \sqrt{2\delta}$$

# 日本のスペース太陽グループの装置開発

- **ひのとり衛星(1981-82); ~190kg**
  - X線望遠鏡(すだれコリメータ)
  - X線精密分光計、X線スペクトル計
- **ようこう衛星(1991-2001); ~390kg**
  - 軟X線望遠鏡のCCDデータ処理部
  - 硬X線望遠鏡

## XUVドップラー望遠鏡[ISAS観測ロケット](1998)

- 直入射多層膜ミラー
- 裏面照射型CCDカメラ
- 可動副鏡機構と制御用センサ

- **太陽フレア硬X線スペクトル計[ISAS気球実験](2002)**
  - CdTeスペクトル計

- **ひので衛星(2006-); ~900kg**
  - 可視光磁場望遠鏡の望遠鏡部・光学設計
  - X線望遠鏡のCCDカメラ
  - コンタミネーションコントロール

- **CLASPロケット実験[NASA観測ロケット](2015打上げ予定) 現在進行中!**
- **SOLAR-C衛星計画(2020年代前半); ~4t**
  - 大型光学望遠鏡(ひのでのヘリテージ)
  - 可動機構、他

これまでの開発



現役で稼働中

# XDT(XUV Doppler Telescope) 反射率レスポンス

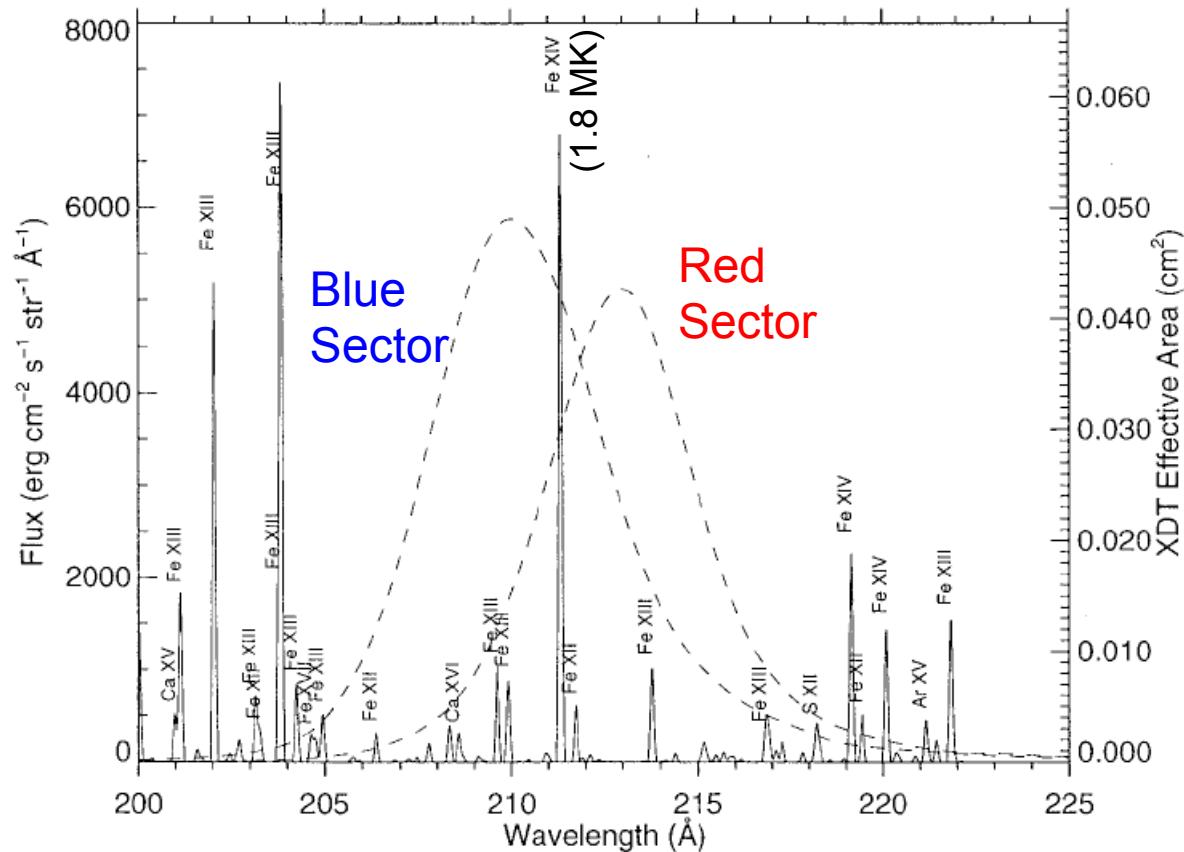


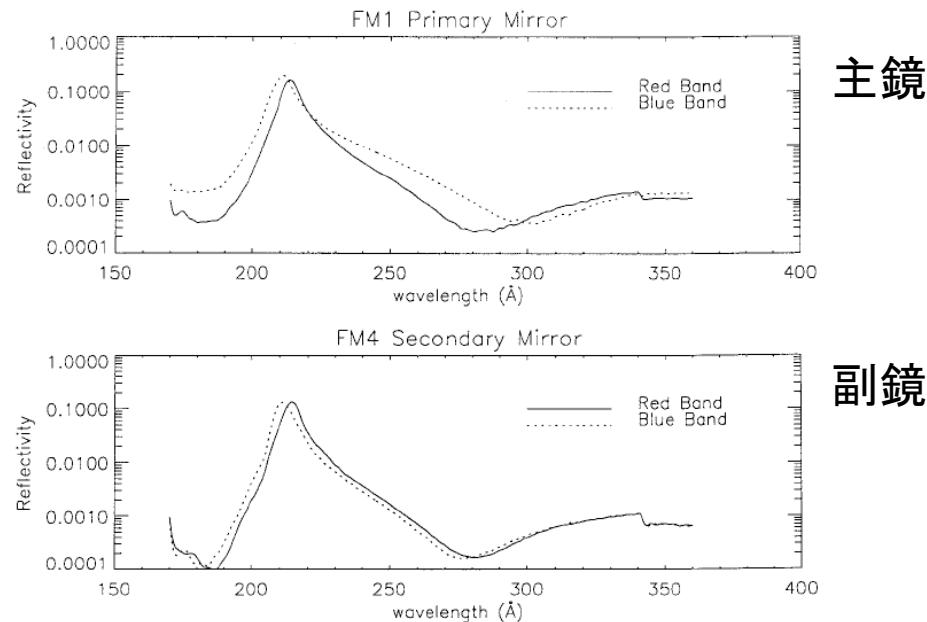
Figure 3. Distribution of emission lines around the target line of Fe XIV 211.3 Å. Intensity of each line has been calculated using a differential emission measure profile of an active region reported in Brosius *et al.* (1996). Response profiles of the blue and red bands of the XDT, in units of effective area, are also shown in dashed lines.

(Sakao et al. 1999)

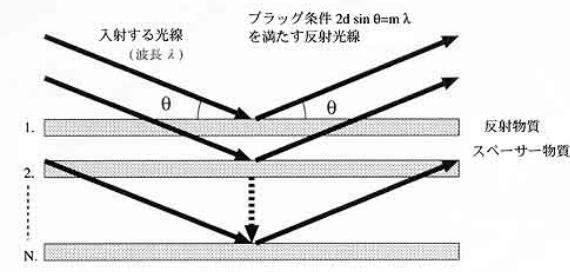
# 直入射光学系

- Cassegrain光学系(副鏡＝凸面)
  - SOHO/EIT、TRACE、XDT、…
- 鏡面の多層膜コーティングにより特定の波長を選択的に反射
- 複数波長取得のため、セクターコーティング +選択シャッター

$$2d \sin \theta = m\lambda$$



MoSi/Si( $\Gamma=0.2$ )多層膜ミラーの反射率



## XUV Doppler Telescope (XDT)

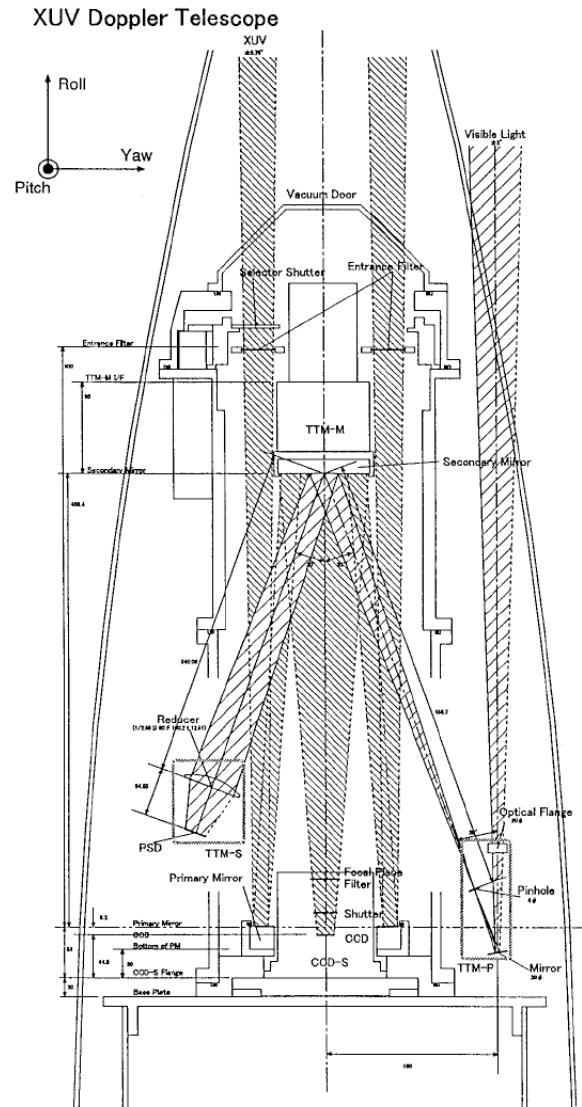


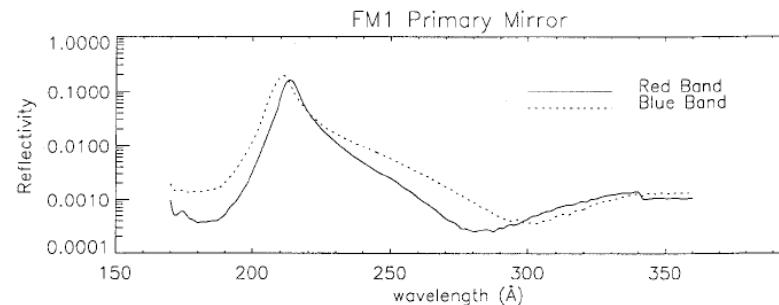
Figure 4. A side view of the XDT mounted inside the nose fairing of the S520 rocket. The path of the incident XUV light is shown in dense hatches while the visible light path for the tip-tilt mirror system is shown in sparse ones. Pitch, yaw, and roll axes of the rocket are also shown in the figure.

(Sakao et al. 1999)

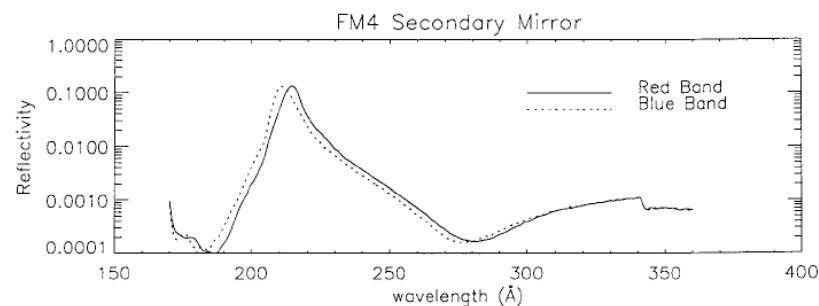
# 直入射光学系

- Cassegrain光学系(副鏡＝凸面)
  - SOHO/EIT、TRACE、XDT、…
- 鏡面の多層膜コーティングにより特定の波長を選択的に反射
- 複数波長取得のため、セクターコーティング +選択シャッター

$$2d \sin \theta = m\lambda$$



主鏡



副鏡

MoSi/Si( $\Gamma=0.2$ )多層膜ミラーの反射率

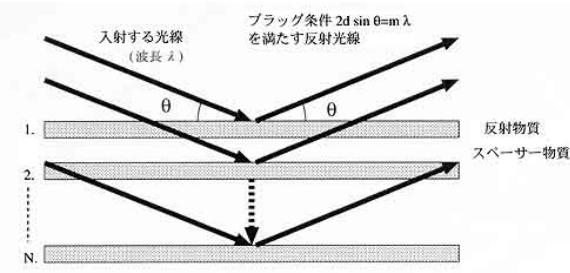


Figure 4. A side view of the XDT mounted inside the nose fairing of the S520 rocket. The path of the incident XUV light is shown in dense hatches while the visible light path for the tip-tilt mirror system is shown in sparse ones. Pitch, yaw, and roll axes of the rocket are also shown in the figure.

(Sakao et al. 1999)

# 日本のスペース太陽グループの装置開発

- **ひのとり衛星(1981-82); ~190kg**
  - X線望遠鏡(すだれコリメータ)
  - X線精密分光計、X線スペクトル計
- **ようこう衛星(1991-2001); ~390kg**
  - 軟X線望遠鏡のCCDデータ処理部
  - 硬X線望遠鏡
- **XUVドップラー望遠鏡[ISAS観測ロケット](1998)**
  - 直入射多層膜ミラー
  - 裏面照射型CCDカメラ
  - 可動副鏡機構と制御用センサ
- **太陽フレア硬X線スペクトル計[ISAS気球実験](2002)**
  - CdTeスペクトル計

これまでの開発



**ひので衛星(2006-); ~900kg**

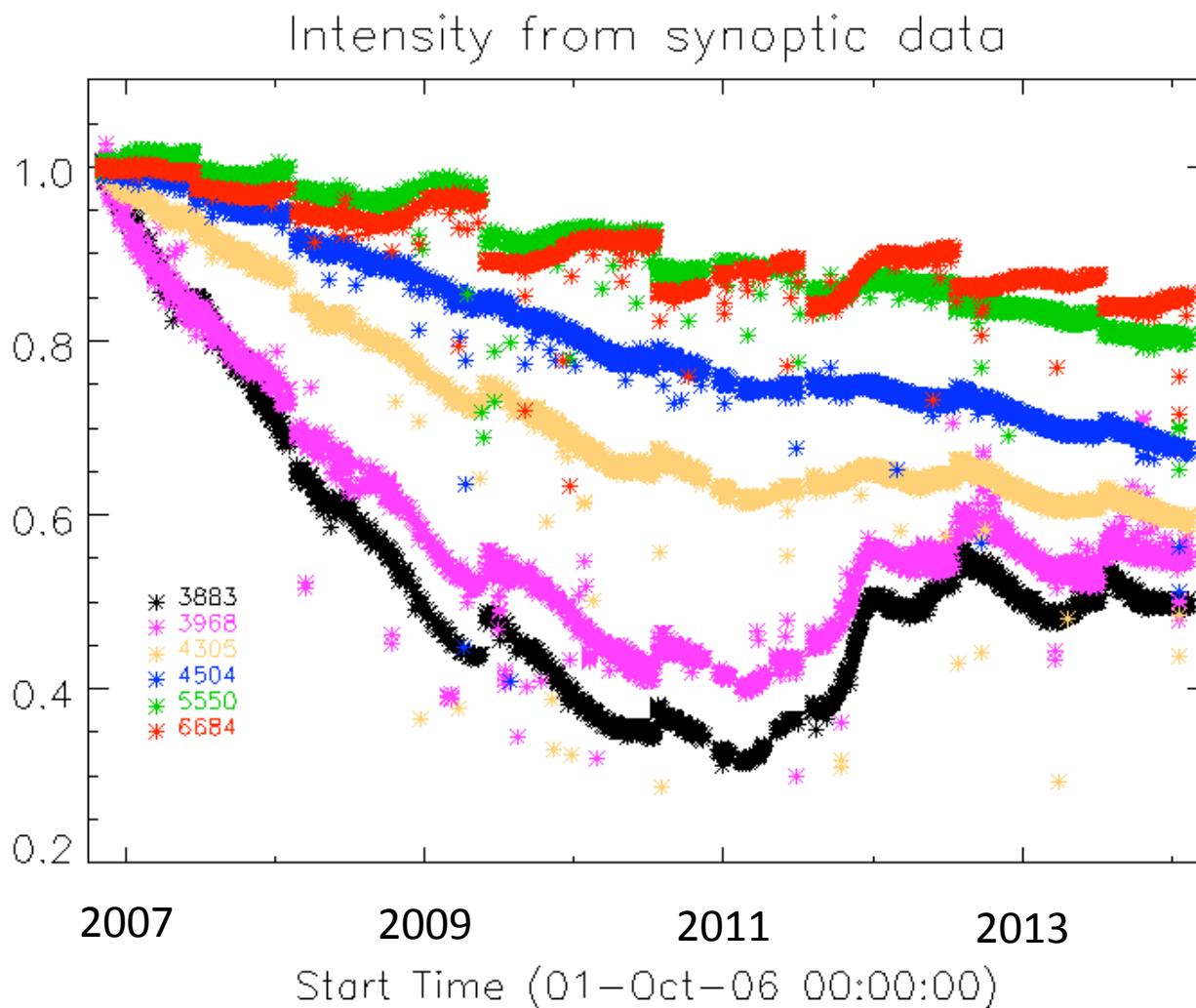
現役で稼働中

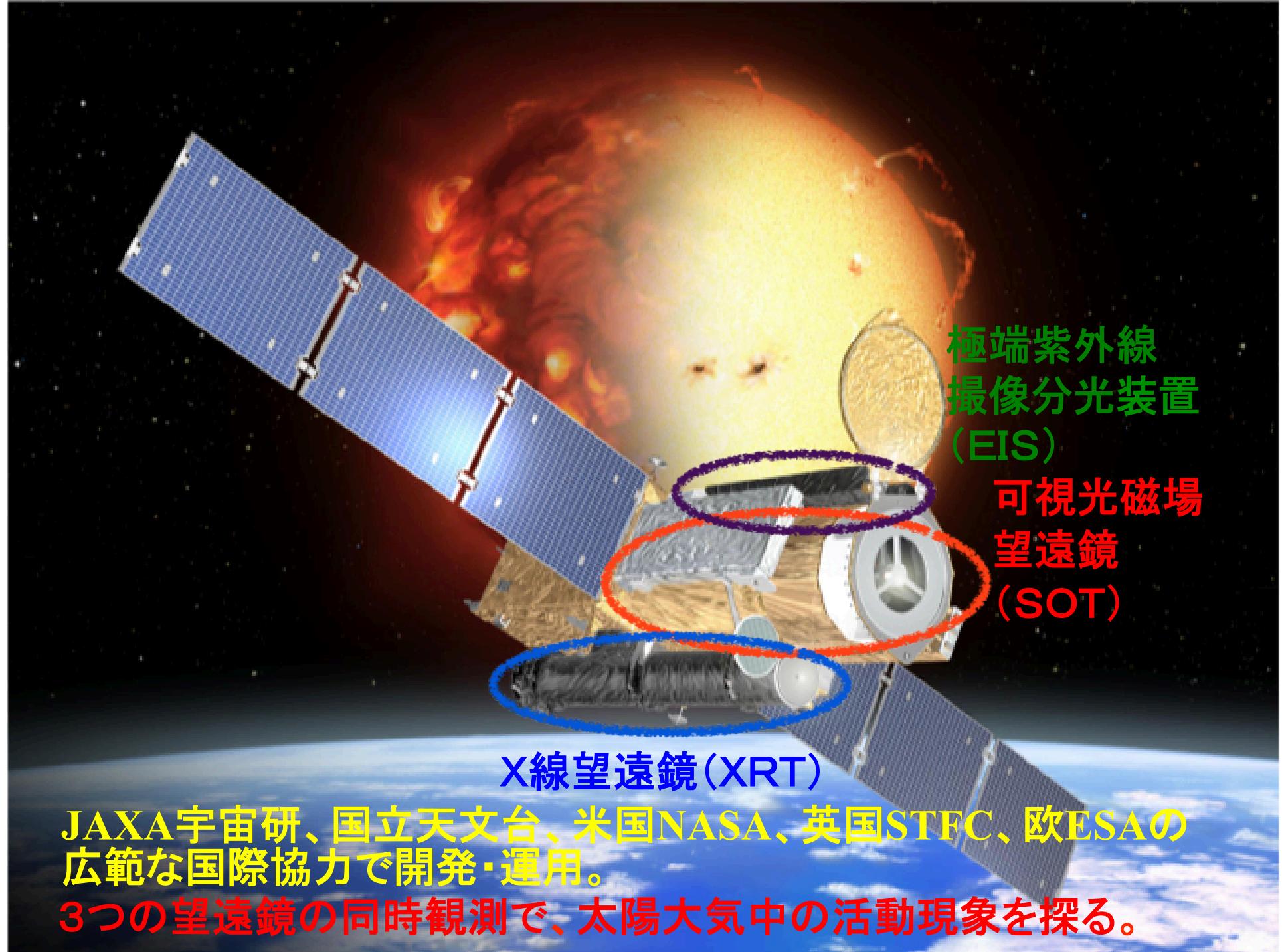
- 可視光磁場望遠鏡の望遠鏡部・光学設計
- X線望遠鏡のCCDカメラ
- コンタミネーションコントロール

- **CLASPロケット実験[NASA観測ロケット](2015打上げ予定)** 現在進行中!
- **SOLAR-C衛星計画(2020年代前半); ~4t**
  - 大型光学望遠鏡(ひのでのヘリテージ)
  - 可動機構、他

# コンタミネーションの影響

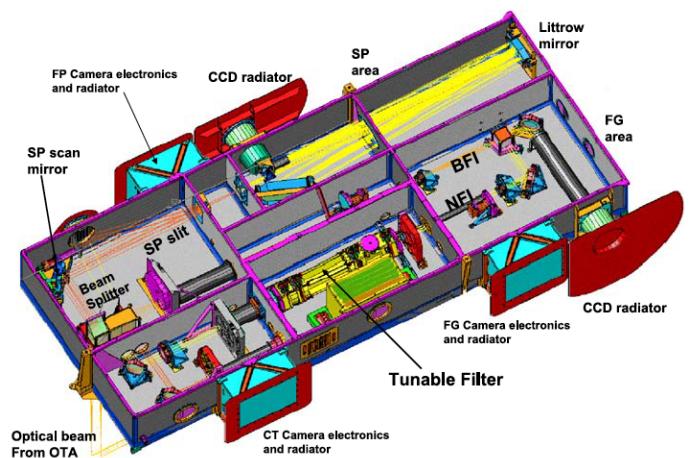
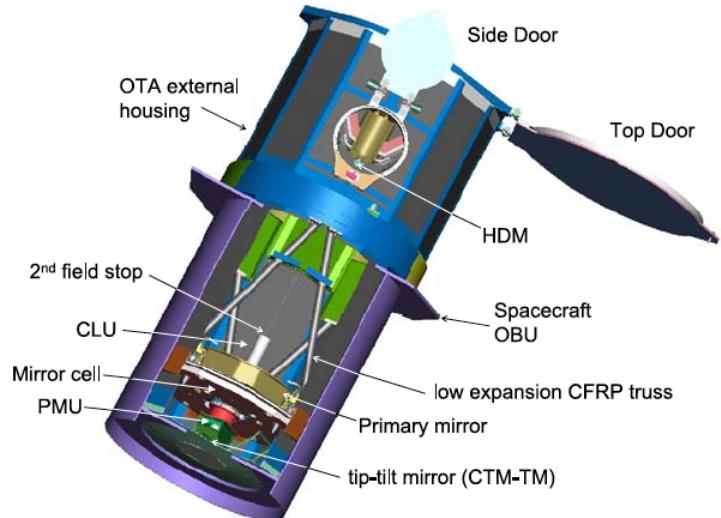
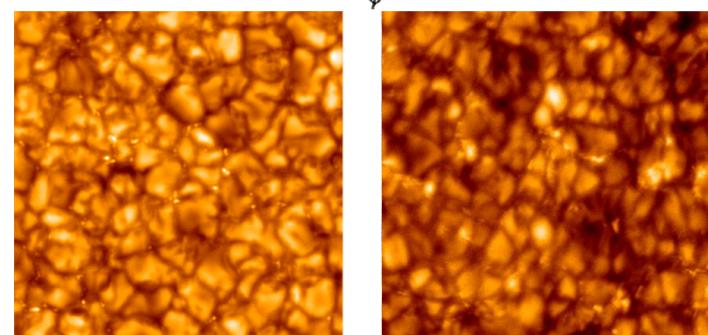
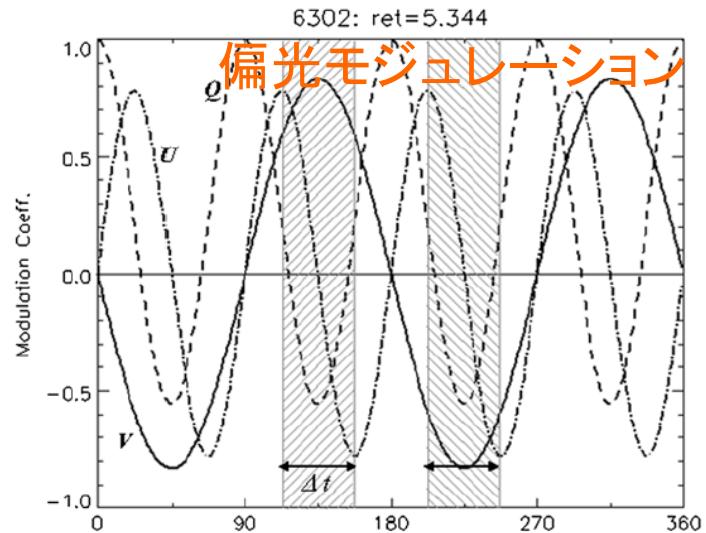
可視光望遠鏡スループット



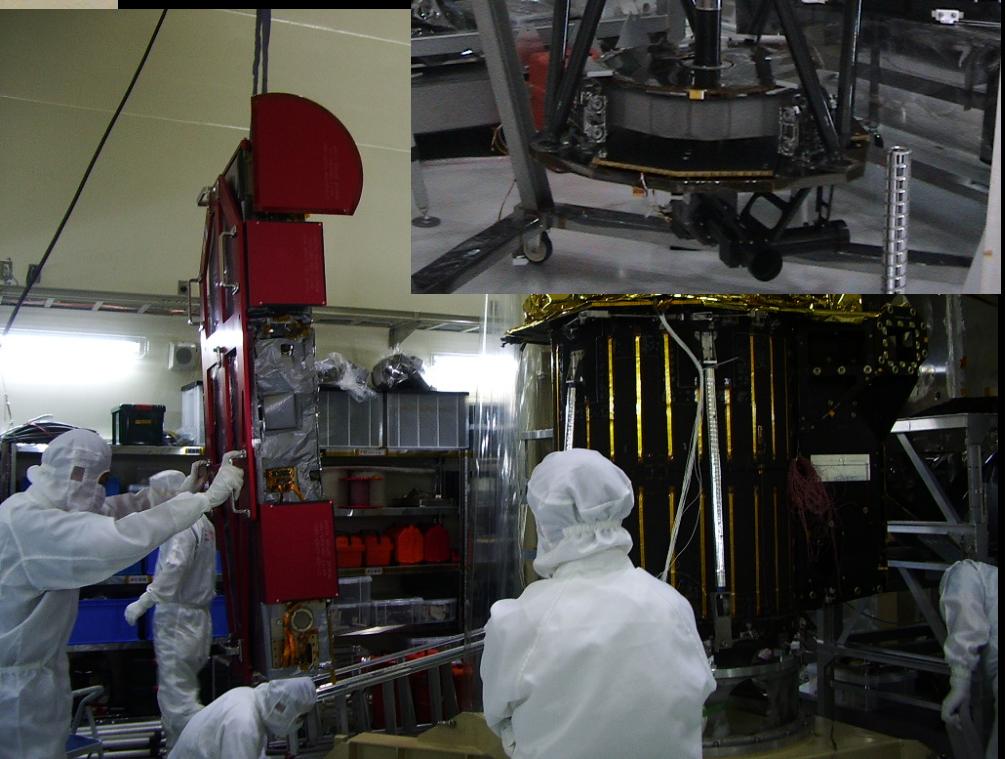
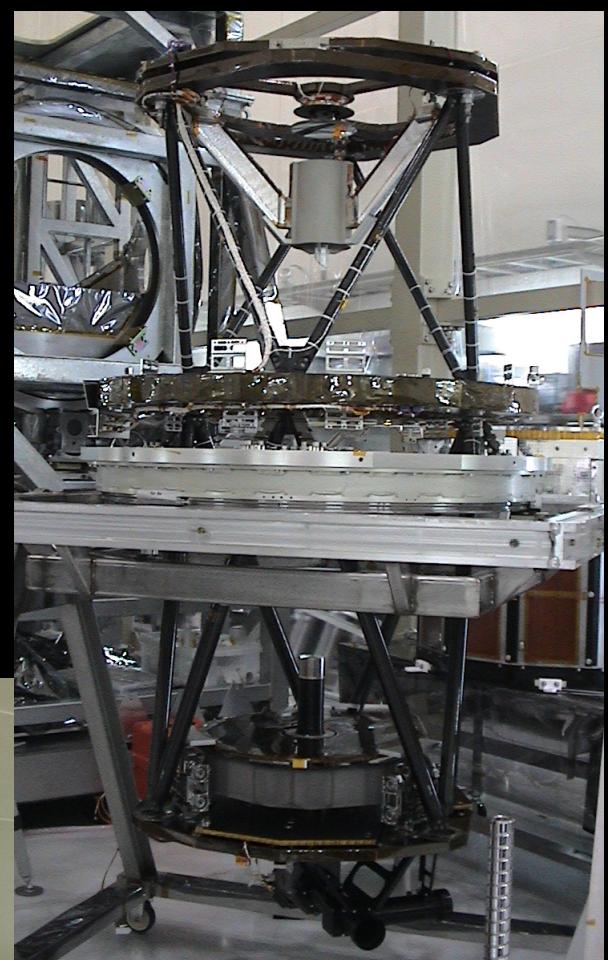


# 可視光磁場望遠鏡 (SOT)

光球からの可視光の直線偏光・円偏光  
成分の精密計測(Stokes IQUV)  
→光球磁場の3次元成分を取得



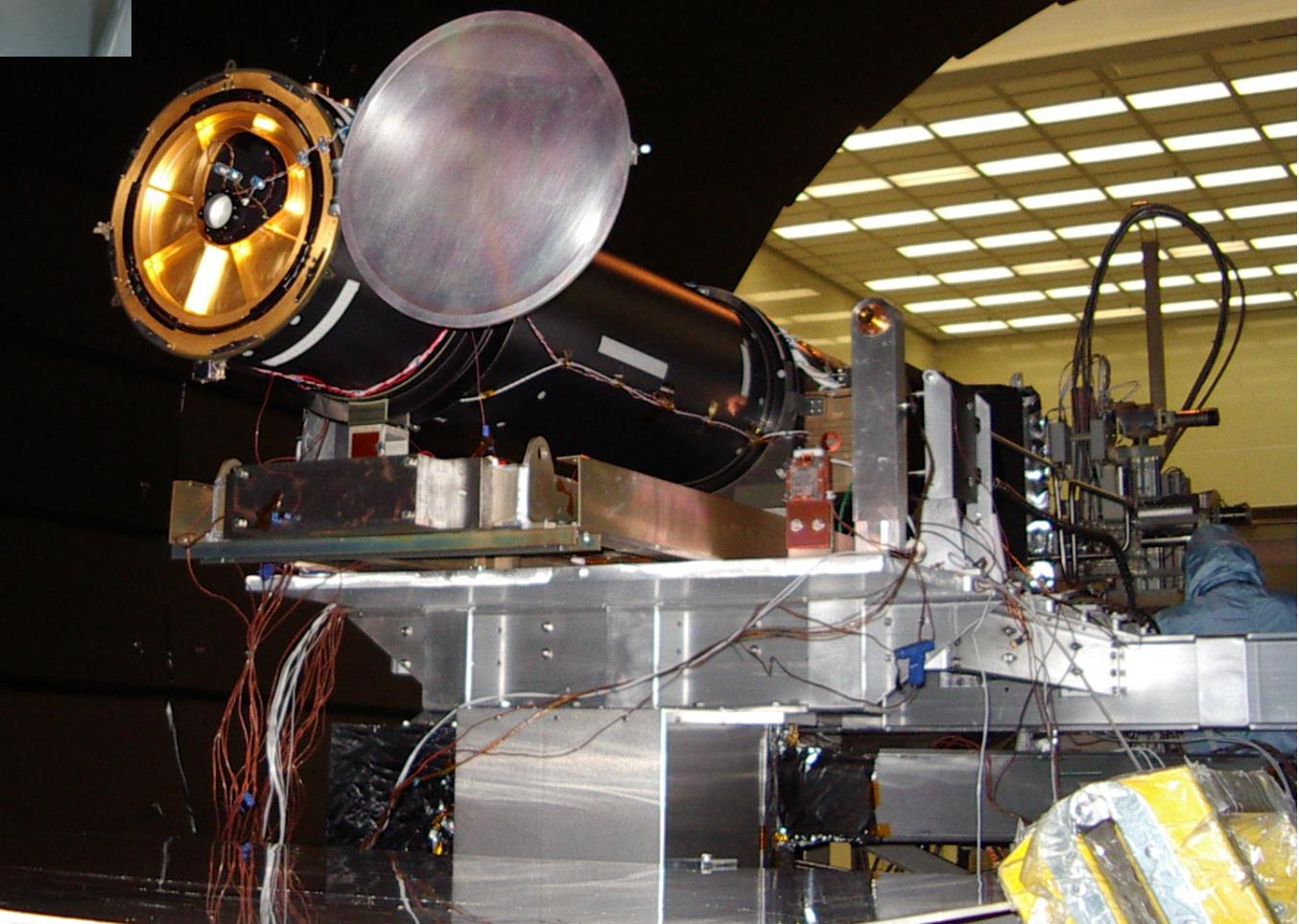
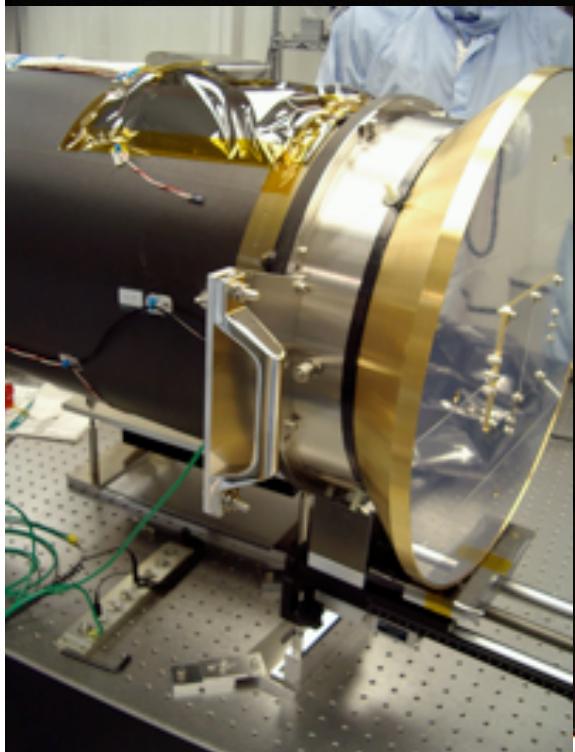
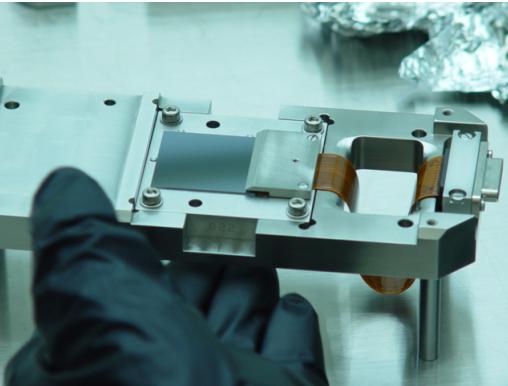
# 可視光磁場望遠鏡 (SOT)



# X線望遠鏡 (XRT)

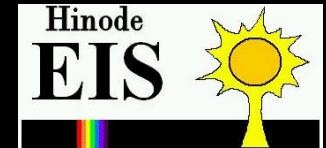


(上下逆に表示している)

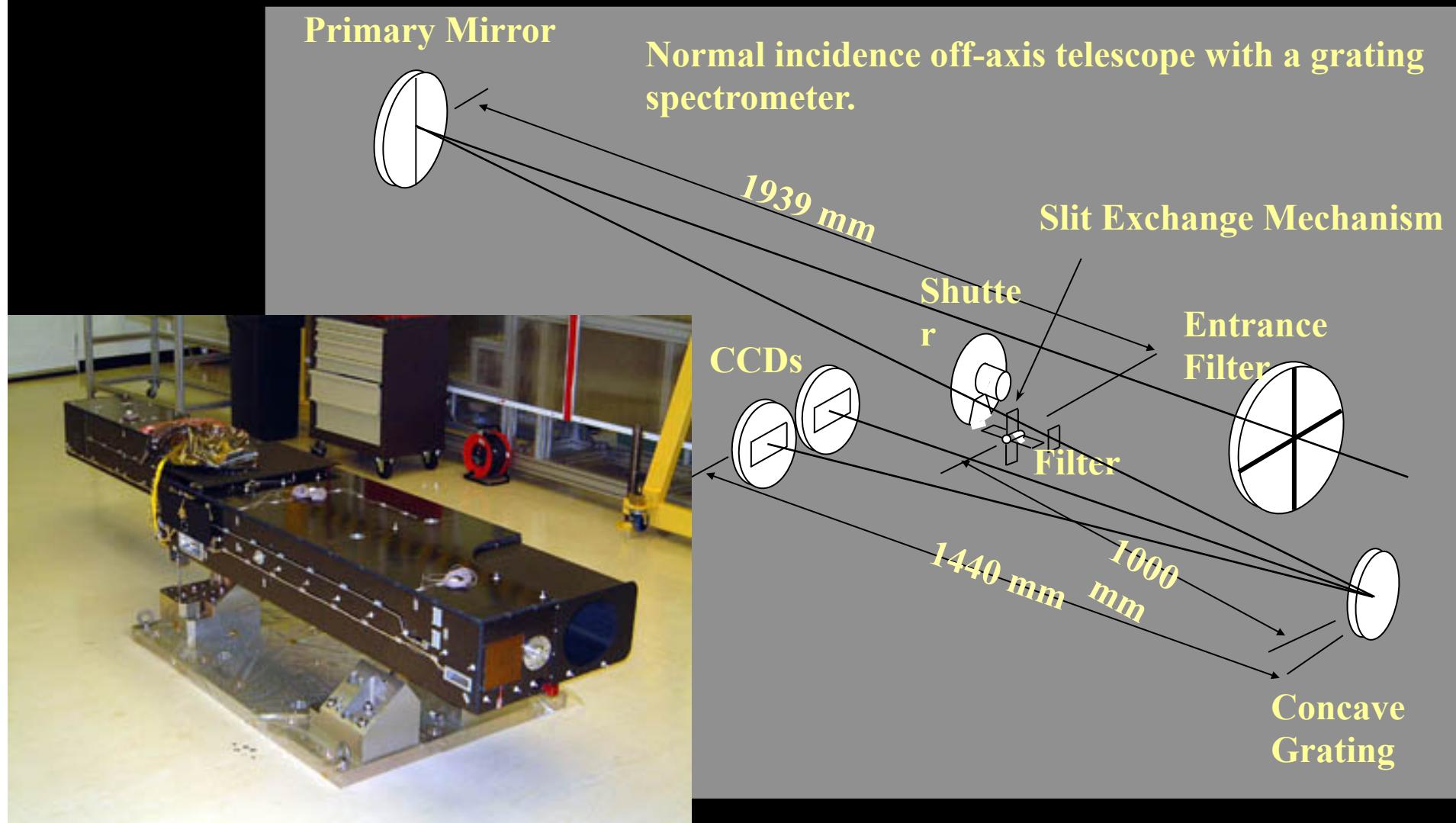


# EIS

## The high-sensitivity solar EUV imaging spectrometer



**Product:** EUV spectra to determine velocity fields and other plasma parameters in the corona and transition region.



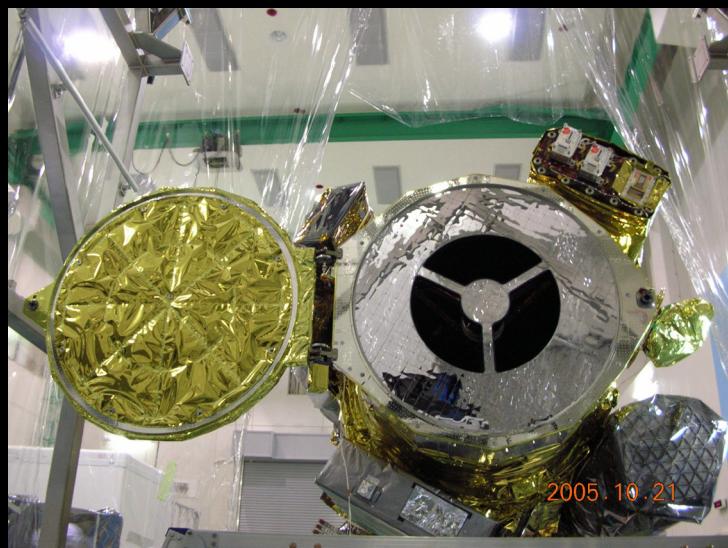
衛星組立作業



# 衛星総合試験

機械環境試験  
(2005年10月)

熱真空試験  
(2006年3月)



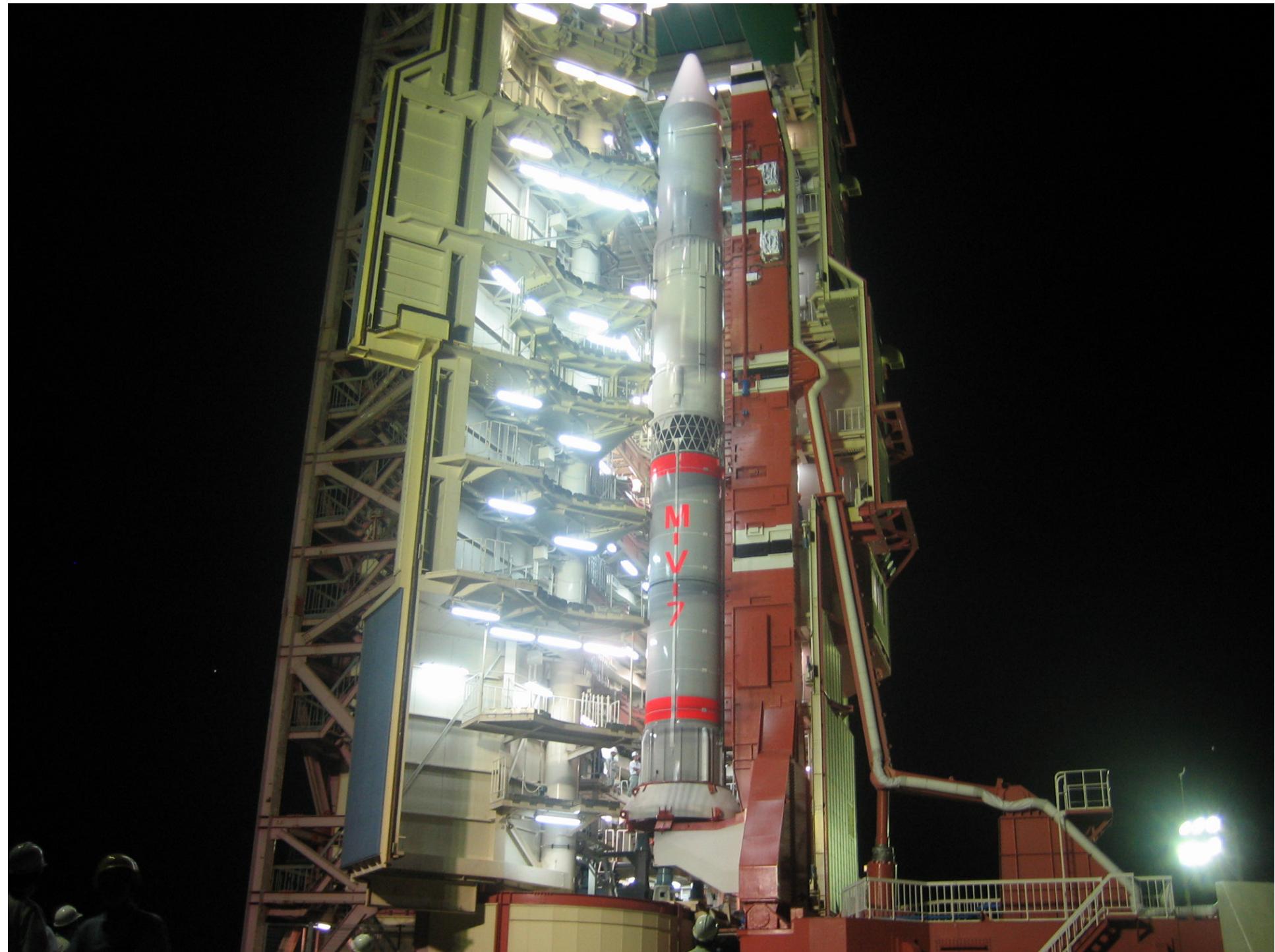
可視光望遠鏡ドア展開試験  
(2005年10月)



可視光  
(2005年10月)







# SOLAR-B/「ひので」の打ち上げ

JAXA内之浦宇宙空間観測所より  
M-V-7ロケットにて

日本時間 2006年9月23日 6:36am



# 日本のスペース太陽グループの装置開発

- **ひのとり衛星(1981-82); ~190kg**
  - X線望遠鏡(すだれコリメータ)
  - X線精密分光計、X線スペクトル計
- **ようこう衛星(1991-2001); ~390kg**
  - 軟X線望遠鏡のCCDデータ処理部
  - 硬X線望遠鏡
- **XUVドップラー望遠鏡[ISAS観測ロケット](1998)**
  - 直入射多層膜ミラー
  - 裏面照射型CCDカメラ
  - 可動副鏡機構と制御用センサ
- **太陽フレア硬X線スペクトル計[ISAS気球実験](2002)**
  - CdTeスペクトル計

これまでの開発



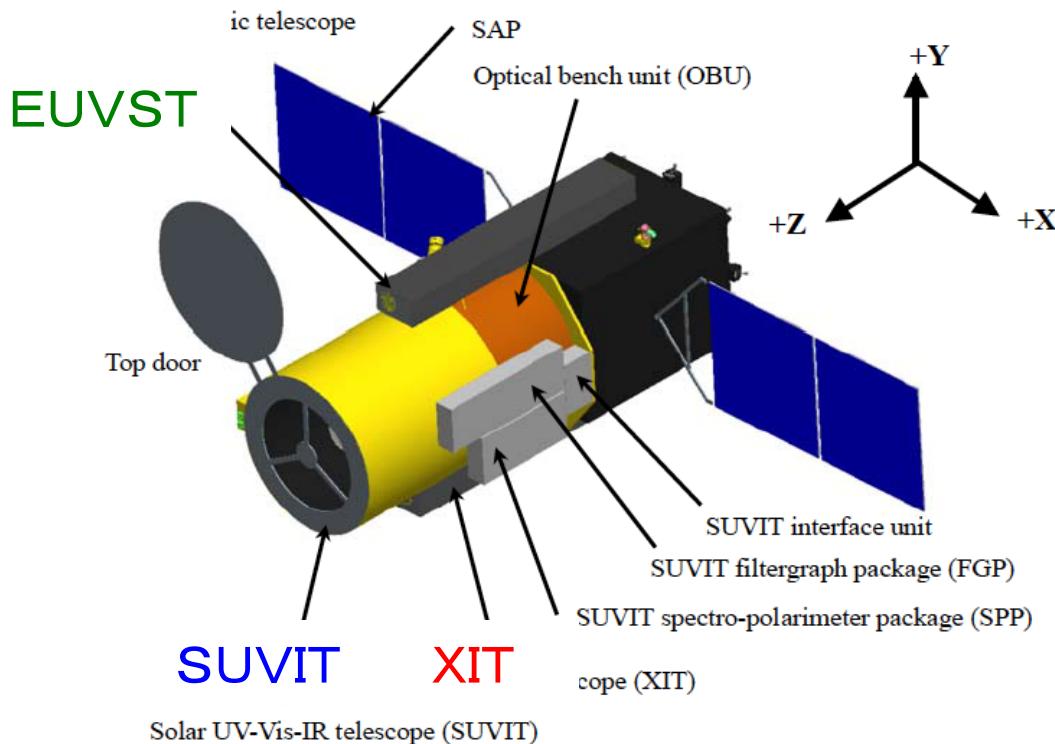
- **ひので衛星(2006-); ~900kg**
  - 可視光磁場望遠鏡の望遠鏡部・光学設計
  - X線望遠鏡のCCDカメラ
  - コンタミネーションコントロール

現役で稼働中

- **CLASPロケット実験[NASA観測ロケット](2015打上げ予定) 現在進行中!**
- **SOLAR-C衛星計画(2020年代前半); ~4t**
  - 大型光子望遠鏡(ひのでのヘリテージ)
  - 可動機構、他

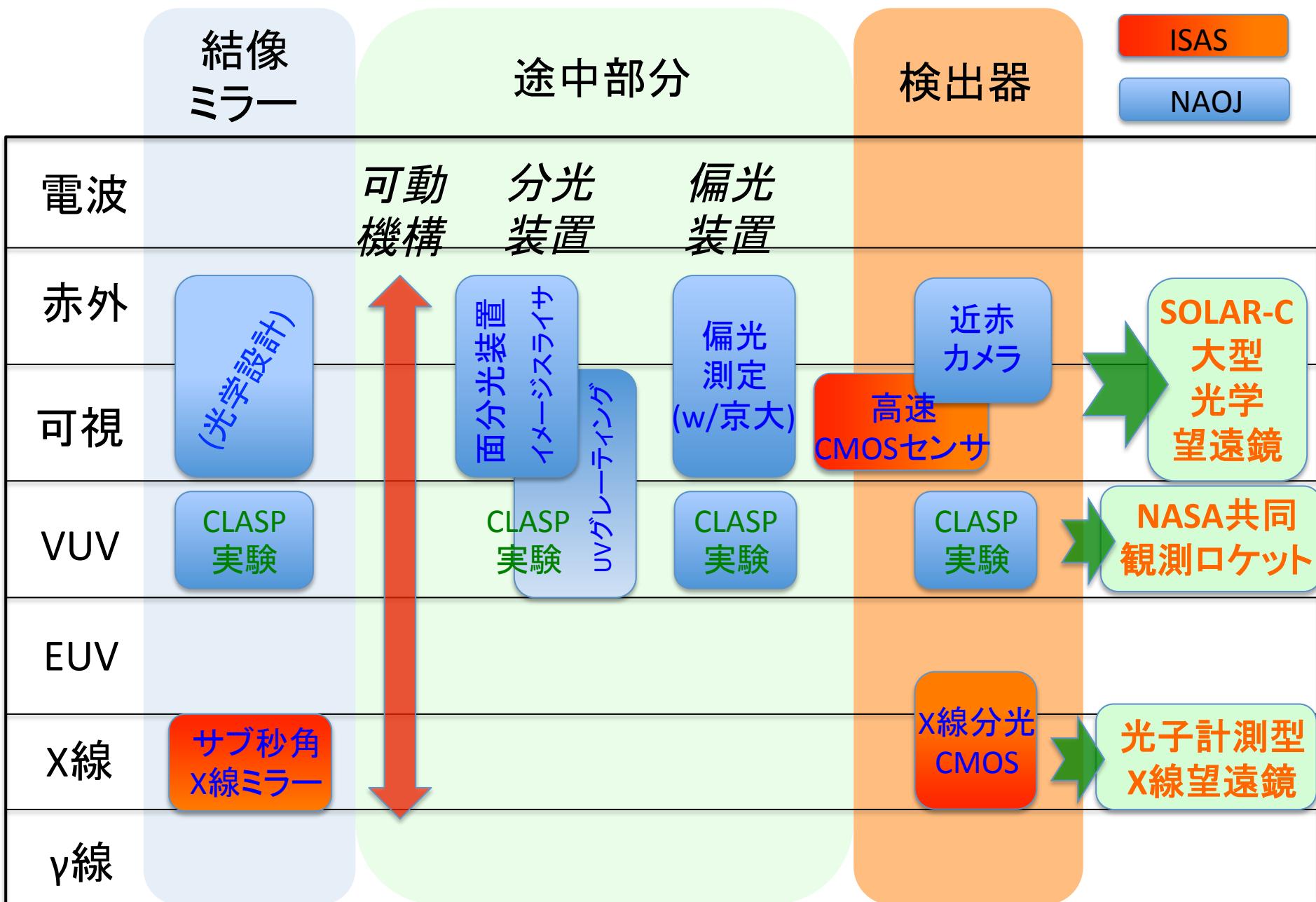
# Solar-C衛星計画

- ・「ひので」に続く4機目の日本の太陽観測衛星。2020年代初頭の打上げ。
- ・3台の望遠鏡による観測：
  - SUVIT – 光学磁場診断望遠鏡...大型(口径~1.5 mクラス)光学望遠鏡**
  - EUVST – 紫外線高感度分光望遠鏡**
  - XIT – X線撮像(分光)望遠鏡**
- ・太陽大気を抜けなく分光(+偏光)観測
- ・磁力線の構造を特定し、太陽大気の加熱とダイナミックな現象のメカニズムを探る
- ・**NASA・ESAとの大規模な国際協力を想定**



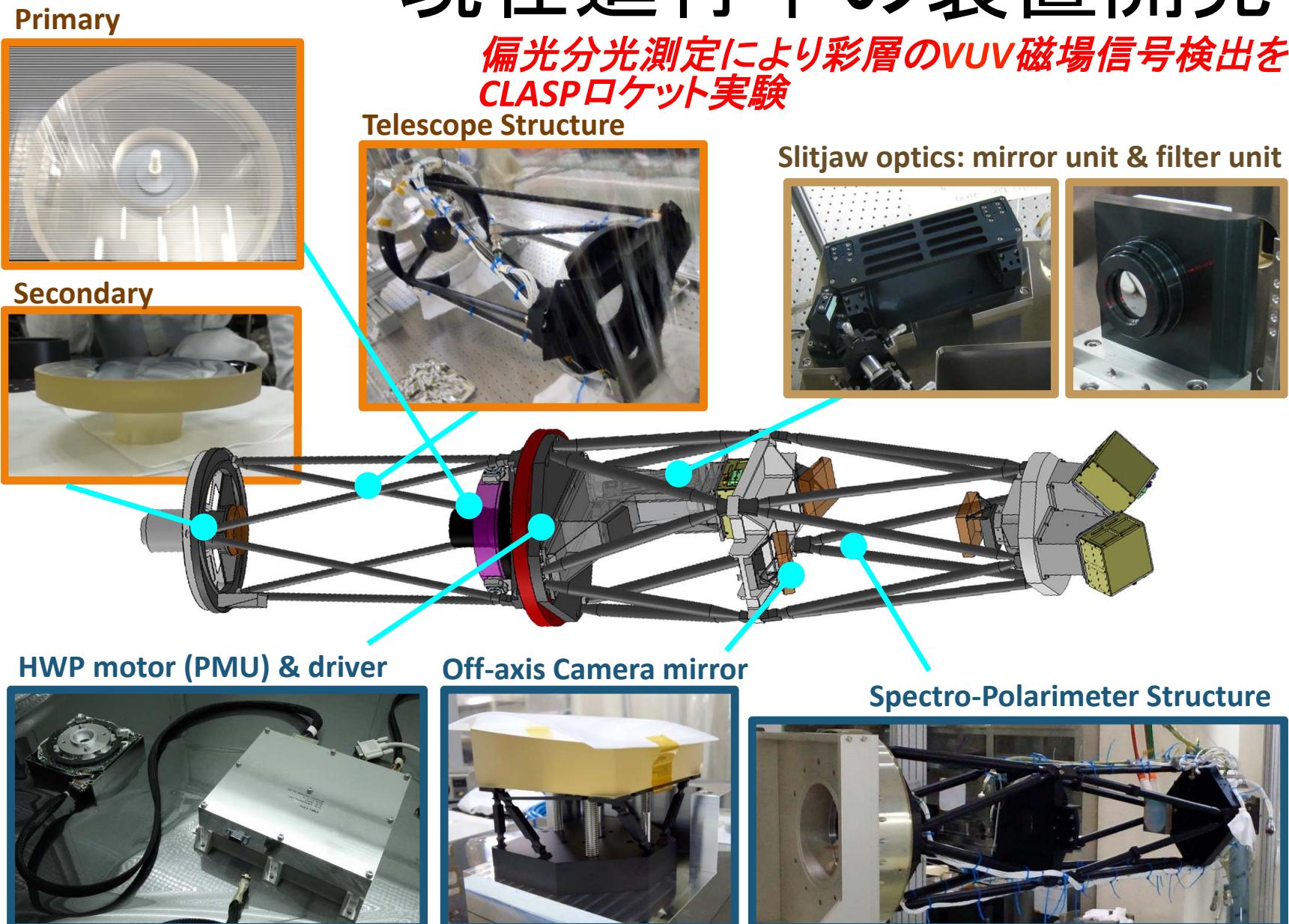
(S/C: ~6.7m in height,  
~3.5m in bus module width)

# スペース太陽観測機器の開発分布(現在進行分)



# 現在進行中の装置開発

偏光分光測定により彩層のVUV磁場信号検出を行う  
CLASPロケット実験



(鹿野さんのCOSPAR2014講演スライドより)

# 現在進行中の

偏光分光測定により彩層の  
CLASPロケット実験

Primary



Secondary



Telescope Structure



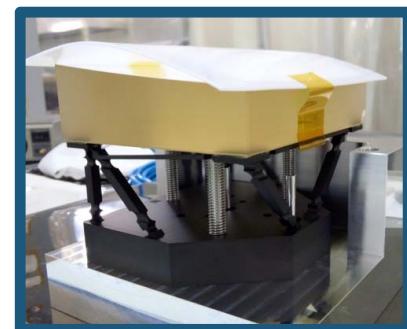
Slitjaw opt



HWP motor (PMU) & driver



Off-axis Camera mirror



Spec



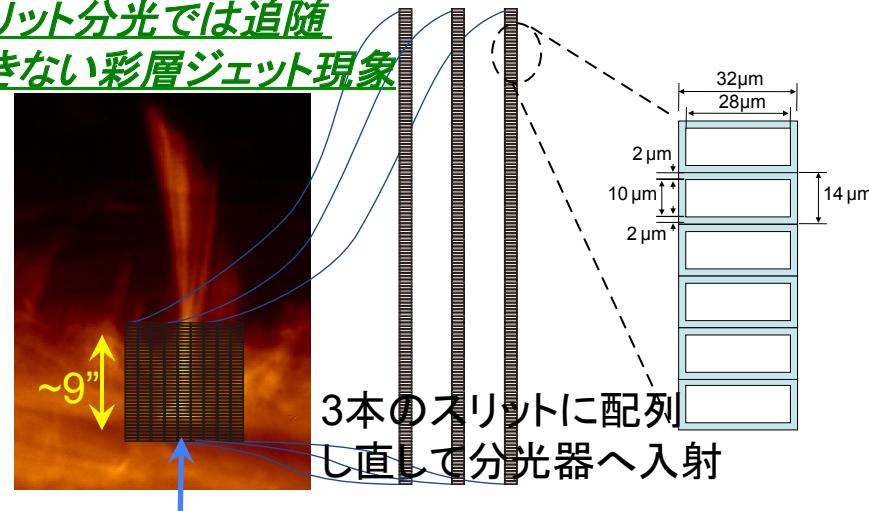
(鹿野さんのCO)



# 現在進行中の装置開発

## 彩層ダイナミクスをとらえる面分光装置の開発 (NAOJ)

スリット分光では追隨  
できない彩層ジェット現象

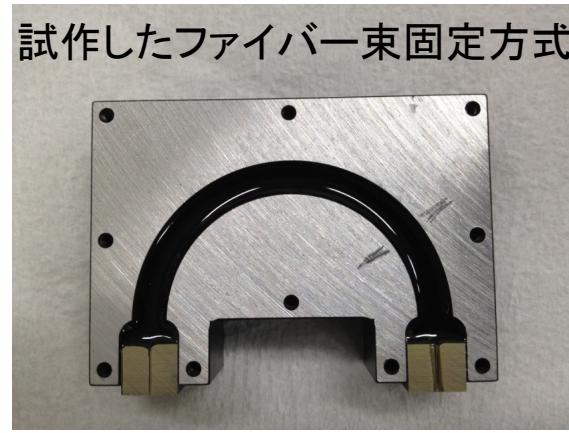
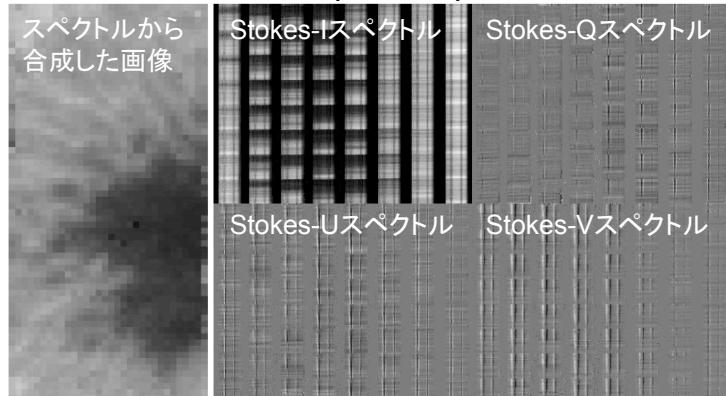


ダイナミックに変動する彩層の偏光分光情報を高速かつ二次元的に取得したい

→スリット分光に加え、**面分光装置を**  
**SOLAR-Cに搭載**  
(c.f., 地上での偏光分光観測で  
近年技術革新)

像面にファイバーアレイを2次元的に配置

ファイバーアレイを用いた黒点の2次元面分光観測の例 (H. Lin)



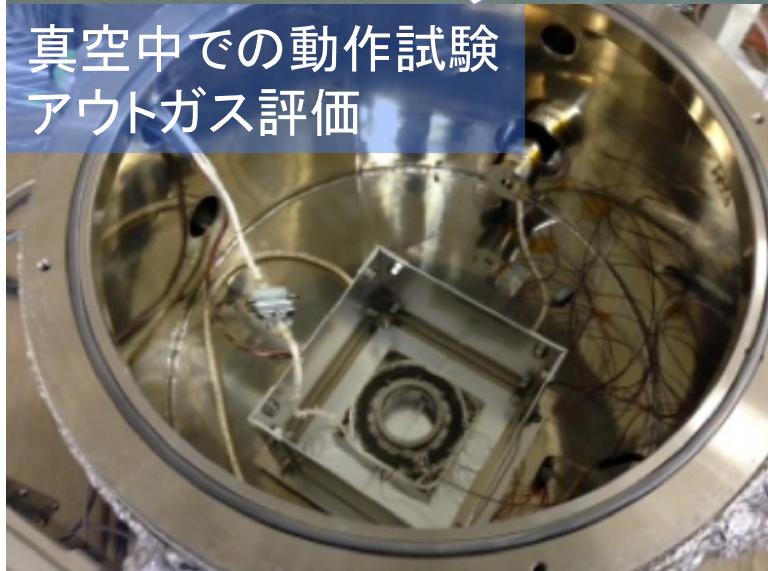
面分装置評価サンプルの入口(上)と出口(下)の顕微鏡写真

# 現在進行中の装置開発

性能検証用試作機



真空中での動作試験  
アウトガス評価



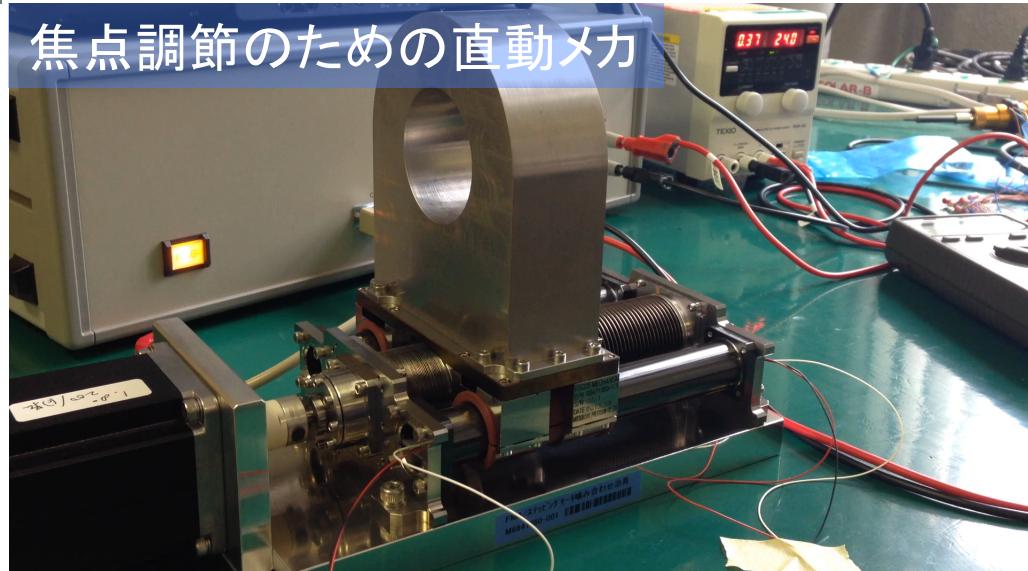
## 宇宙用高信頼性可動機構の開発 (ISAS)

宇宙空間で1000万回以上、確実に動作する高信頼性回転機構

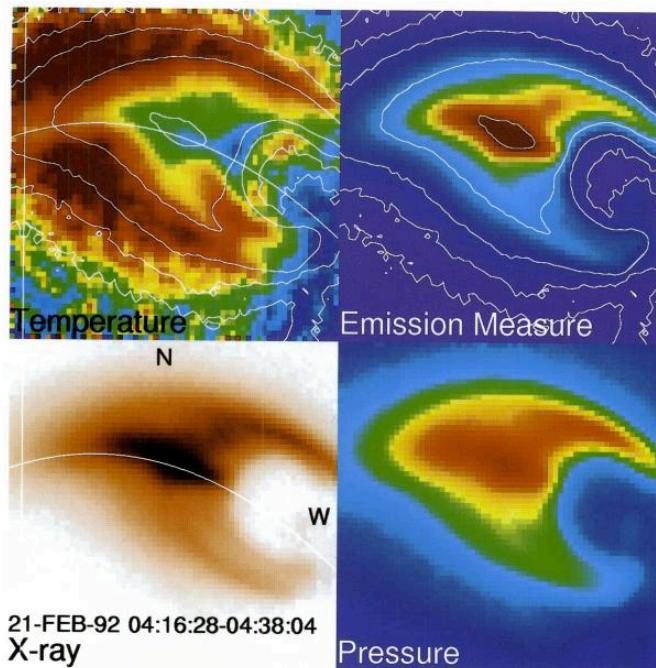
最適な潤滑材の決定  
軸受に必要な精度の特定と試験

- 真空中での連続動作検証
- 低アウトガスの確認
- CLASPロケット実験への搭載

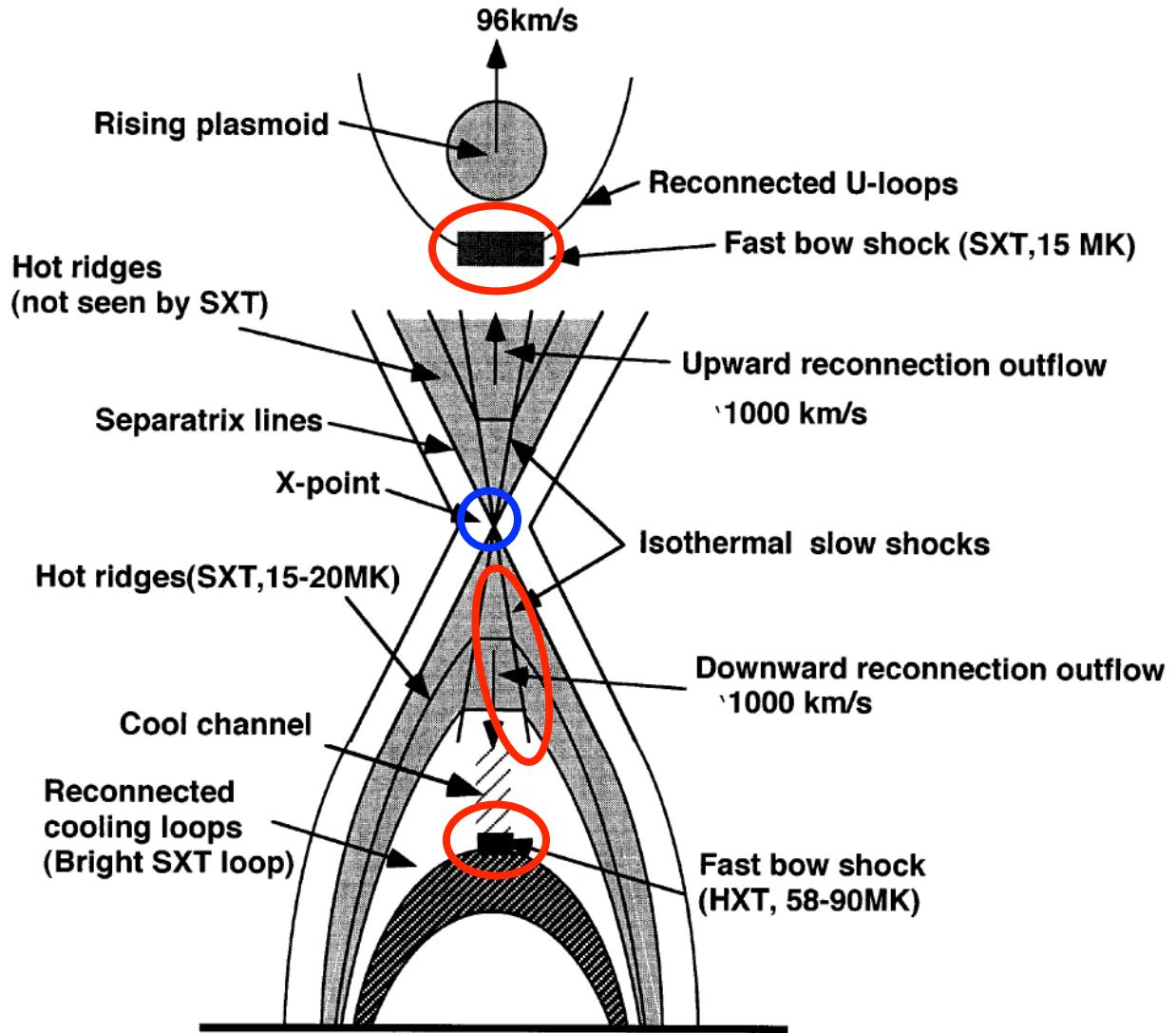
焦点調節のための直動メカ



# Possibilities: Shocks in the Reconnection Structure



(Tsuneta, *Ap. J.* 1996)

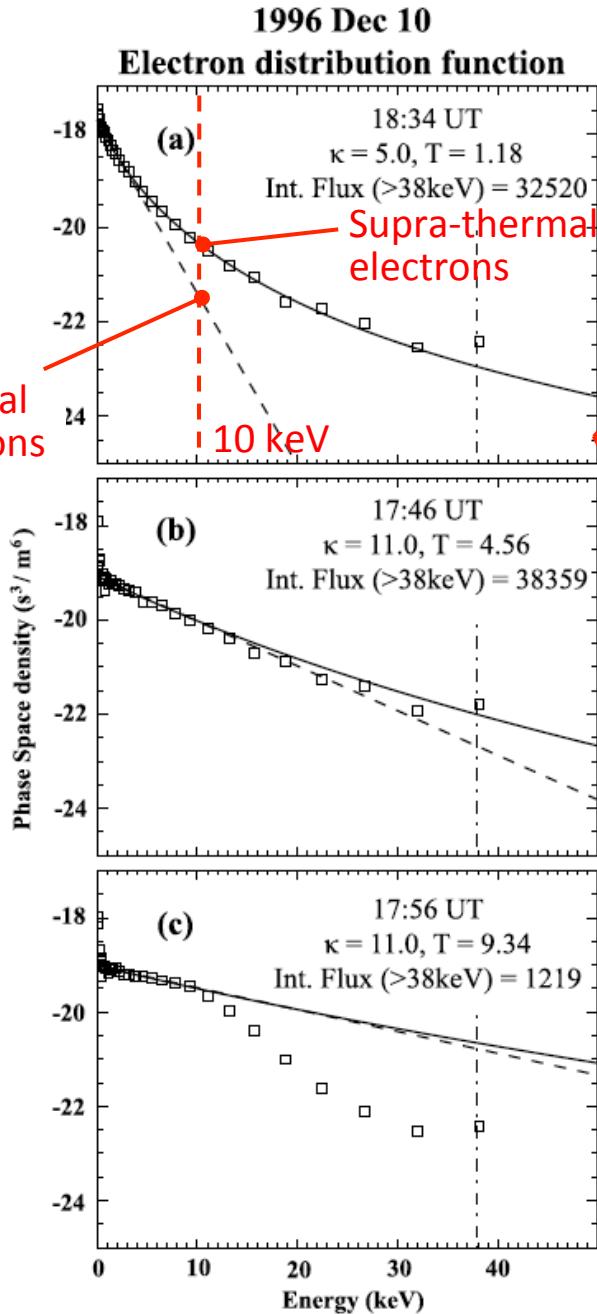


(Tsuneta, *Ap. J.* 1997)

Imada et al.  
JGR 2011

e<sup>-</sup> distribution spectra outside diffusion region

Thermal electrons

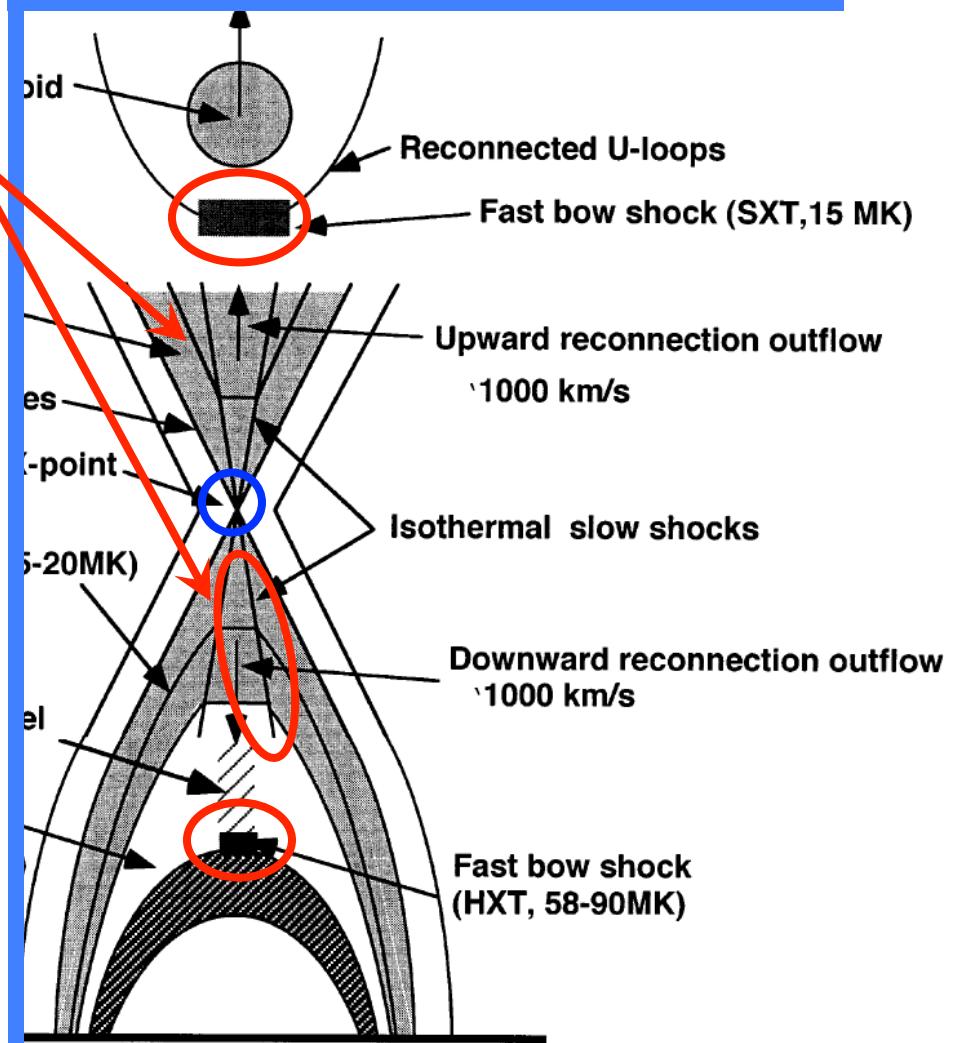


e<sup>-</sup> distribution spectra around reconnection point

Electron acceleration at Earth's magnetotail

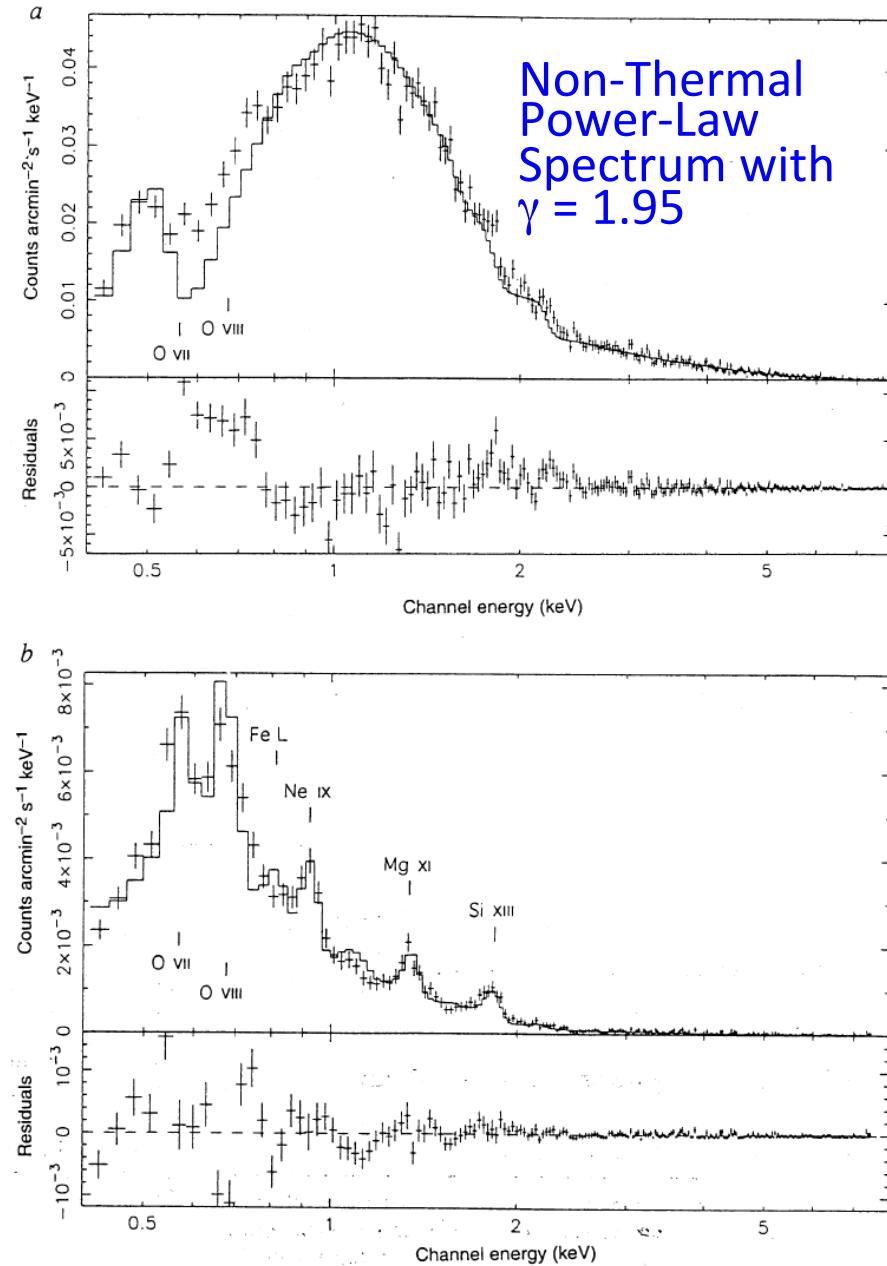
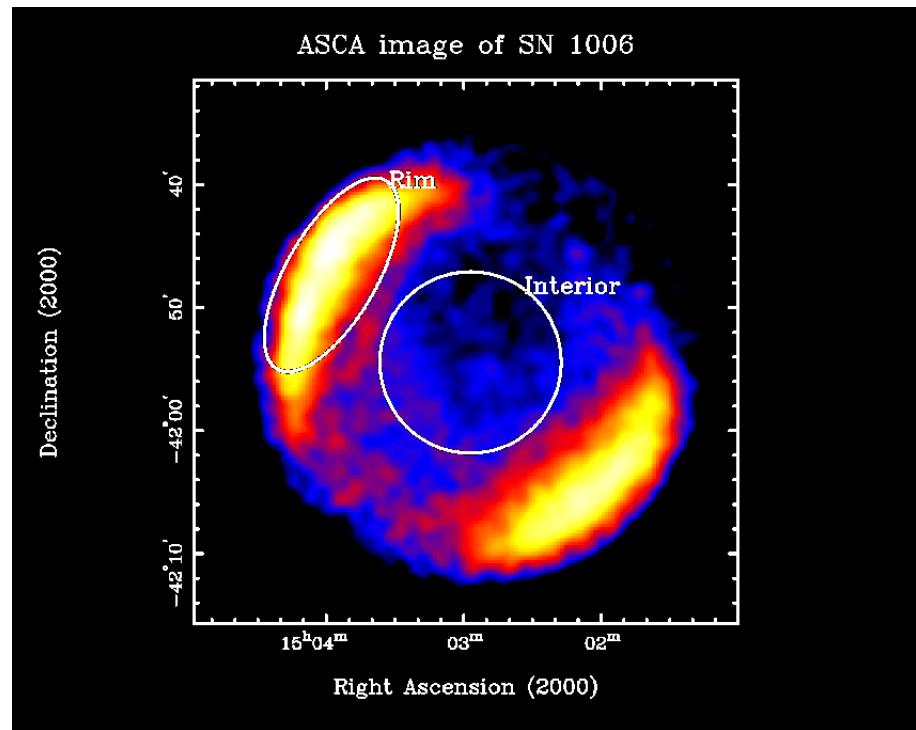
# shocks in the

Energy range covering up to  $\sim 10$  keV should clearly identify presence of supra-thermal electron components



Tsuneta, Ap. J. 1997)

# Shock Acceleration of Electrons in Cosmic Plasmas

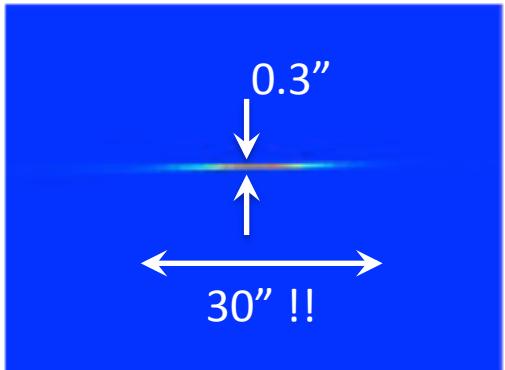
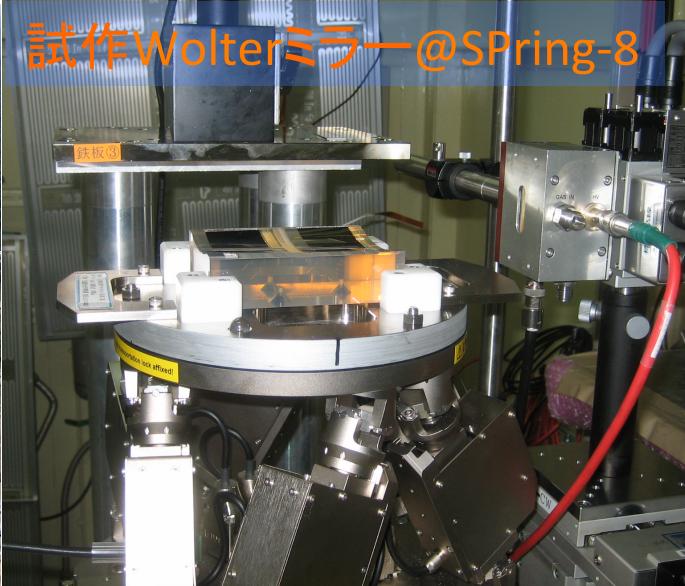
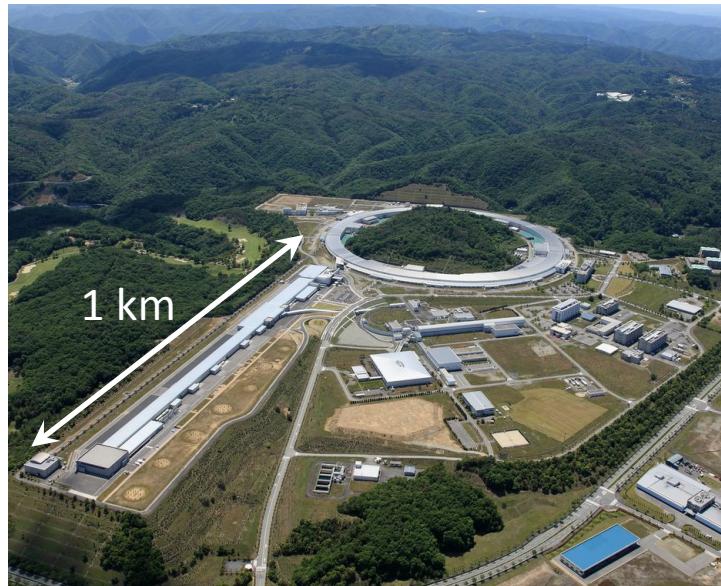


(Koyama et al. 1995)

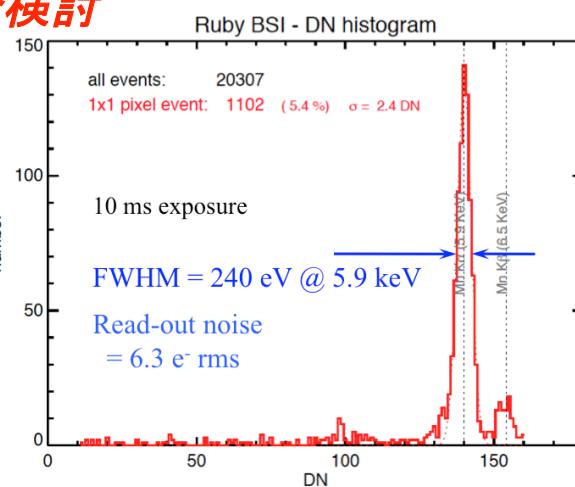
# 現在進行中の装置開発

## 光子計測型X線望遠鏡に向けた開発検討 (ISAS)

SPring-8を用いたサブ秒角斜入射X線ミラーの開発(阪大工学研究科・山内研究室との共同研究)



## X線分光CMOSセンサの開発検討



←~200 fpsでのMn K $\alpha$ ・K $\beta$ 線の分離  
(常温)